

決算説明会資料

株式会社山口フィナンシャルグループ

平成25年度中間決算の概要と グループ戦略について

平成25年12月2日

目次

1. 業績概要

平成25年度中間決算の概要(連結・3行単体合算)	1
山口銀行の平成25年度中間決算概要	2
もみじ銀行の平成25年度中間決算概要	3
北九州銀行の平成25年度中間決算概要	4
預貸金の状況	5
期中平均利回りの推移	6
有価証券残高・評価損益の状況	7
役務収益の推移	8
信用コストと不良債権の状況	9
自己資本比率の状況	10
経費の推移と見通し	11
平成26年3月期の業績予想	12
配当実績・計画	13

2. グループ戦略

グループ戦略「YMFG中期経営計画2013」	14
「一つのYMFG」への変革	
～地域と深く関わるネットワークの強化	15
～「YMFG」への意識転換	16
地域とYMFGの共栄	
～アジアの成長の取込①	17
～アジアの成長の取込②	18
～グループ一体となったコンサルティング機能の発揮	19
～地域活性化への取組①	20
～地域活性化への取組②	21
～YMFGのファンを増やす	22
株価推移	23

3. 資料編

業績推移(1)FG連結・3行合算	24
業績推移(2)各行単体	25
貸出金推移(末残)	26
預金推移(末残)	27
資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)	28
利回り・利鞘推移	29
債務者区分の遷移状況(H25年3月末⇒H25年9月末)	30
債務者区分の遷移状況(H24年9月末⇒H25年9月末)	31
リスク資本配賦	32
地区別経済概況(山口県)	33
地区別経済概況(広島県)	34
地区別経済概況(北九州)	35
地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)	36
地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)	37

1.業績概要

平成25年度中間決算の概要(連結・3行単体合算)

- ◆前期の貸出債権証券化による譲渡益が剥落し、コア業務純益は前年同期比31億円減少。
- ◆与信費用の減少、有価証券関係損益の改善により、中間純利益は前年同期比35億円増加し158億円を計上。

(億円)

	YMFVG連結		3行合算				
		前年同期比		前年同期比	山口	もみじ	北九州
コア業務粗利益	578	△ 44	544	△ 55	6	△ 62	0
資金利益	472	△ 4	477	△ 1	△ 5	4	△ 0
役務取引等利益	88	21	63	16	9	6	0
その他業務利益	2	△ 71	2	△ 71	1	△ 73	0
経費(△) (除く臨時処理分)	427	△ 12	385	△ 16	△ 12	△ 3	△ 0
人件費(△)	—	—	174	△ 6	△ 5	△ 2	0
物件費(△)	—	—	191	△ 8	△ 6	△ 0	△ 1
コア業務純益	150	△ 31	158	△ 38	19	△ 58	1
経常利益	253	62	250	49	69	△ 24	5
中間純利益	158	35	163	25	43	△ 20	2
与信費用	△ 38	△ 48	△ 38	△ 47	△ 21	△ 33	7

資金利益の内訳(3行合算)

(億円)

	25/9期	前年同期比
資金利益	477	△ 1
資金運用収益	520	△ 1
貸出金利息	406	△ 22
有価証券利息	107	22
資金調達費用	43	△ 0
預金利息	36	1
その他	0	△ 0

前期、貸出債権証券化に伴う譲渡益を計上した特殊要因が今期は剥落したことによる。

連単差

3行合算中間純利益	163億円
のれん償却費(もみじ銀行他)	△ 24億円
F G連結調整等	17億円
子銀行連結調整	1億円
YMFVG連結純利益	158億円

※単位未満は切捨て表示。3行合算については3行単体の単純合算数値

山口銀行の平成25年度中間決算概要

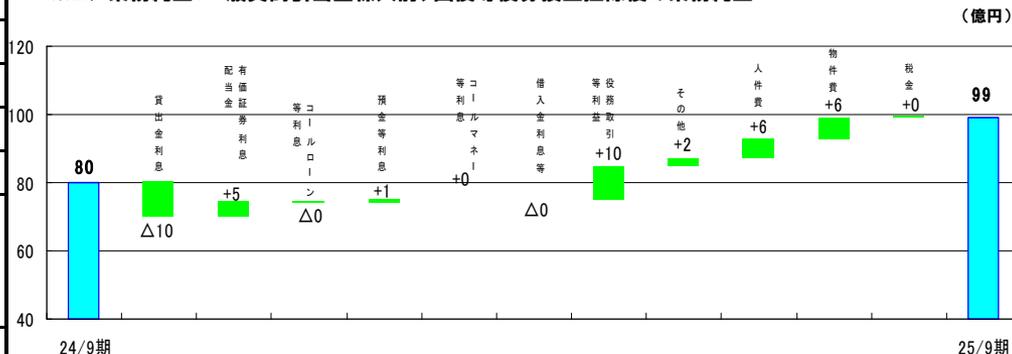
- ◆ 資金利益は減少となるが、役務取引等利益の増加・営業経費削減によりコア業務純益は前年同期比19億円増加。
- ◆ 加えて与信費用の減少、有価証券関係損益の増加もあり中間純利益は前年同期比43億円増加。

(億円)		
	25/9期	前年同期比
経常収益	440	35
業務粗利益	293	△ 41
資金利益	252	△ 5
役務取引等利益	39	9
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	1 (2)	△ 47 (△ 48)
経費(除く臨時処理分)(△)	192	△ 12
うち人件費(△)	84	△ 5
うち物件費(△)	97	△ 6
一般貸倒引当金繰入額(△)	—	—
業務純益	101	△ 29
コア業務純益	99	19
臨時損益	61	98
うち不良債権処理額(△)	0	0
うち株式等関係損益	28	68
うち貸倒引当金戻入益	26	21
経常利益	162	69
特別損益	△ 5	△ 4
税引前中間純利益	157	64
中間純利益	100	43
与信関係費用	△ 25	△ 21

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

コア業務純益 99億円(前年同期比 +19億円)

※コア業務純益：一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



有価証券関係損益 31億円(前年同期比 +19億円)

(億円)		
	25/9期	前年同期比
国債等債券損益	2	△ 48
売却損益	8	△ 43
償還損益	△ 5	△ 4
株式等損益	28	68
売却損益	28	28
償却額(減損処理)(△)	—	△ 40

与信関係費用 △25億円(前年同期比 △21億円)

(億円)		
	25/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△ 26	△ 15
個別貸倒引当金繰入額	△ 0	△ 6

もみじ銀行の平成25年度中間決算概要

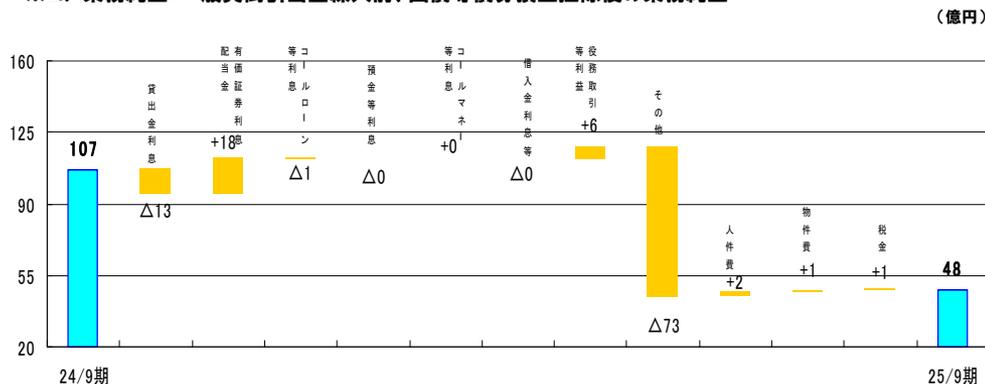
- ◆前期の貸出債権証券化に伴う譲渡益が剥落したことにより、コア業務純益は前年同期比58億円減少。
- ◆一方で与信費用が減少した結果、中間純利益は前年同期比20億円減少。

	(億円)	
	25/9期	前年同期比
経常収益	277	△ 59
業務粗利益	206	△ 93
資金利益	176	4
役務取引等利益	20	6
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	10 (8)	△103 (△30)
経費(除く臨時処理分)(△)	150	△ 3
うち人件費(△)	68	△ 2
うち物件費(△)	73	△0
一般貸倒引当金繰入額(△)	—	8
業務純益	56	△ 98
コア業務純益	48	△ 58
臨時損益	22	73
うち不良債権処理額(△)	1	△ 26
うち株式等関係損益	11	29
うち貸倒引当金戻入益	16	16
経常利益	78	△ 24
特別損益	△ 1	△0
税引前中間純利益	77	△ 25
中間純利益	57	△ 20
与信関係費用	△ 14	△ 33

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

コア業務純益 48億円(前年同期比 △58億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



有価証券関係損益 19億円(前年同期比 △0億円)

(億円)	25/9期	前年同期比
国債等債券損益	8	△30
売却損益	12	△27
償還損益	△4	△3
株式等損益	11	29
売却損益	11	15
償却額(減損処理)(△)	0	△14

与信関係費用 △14億円(前年同期比 △33億円)

(億円)	25/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△17	△8
個別貸倒引当金繰入額	1	△24

北九州銀行の平成25年度中間決算概要

- ◆ 資金利益は微減するも、役務取引等利益の増加・営業経費削減によりコア業務純益は前年同期比1億円増加。
- ◆ 与信費用が増加した一方、有価証券関係損益の改善を主因に中間純利益は前年同期比2億円増加。

	(億円)	
	25/9期	前年同期比
経常収益	63	△ 3
業務粗利益	53	0
資金利益	48	△ 0
役務取引等利益	3	0
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	1 (△ 0)	0 (△ 0)
経費(除く臨時処理分)(△)	43	△ 0
うち人件費(△)	20	0
うち物件費(△)	20	△ 1
一般貸倒引当金繰入額(△)	△ 1	△ 1
業務純益	12	2
コア業務純益	10	1
臨時損益	△ 3	2
うち不良債権処理額(△)	4	4
うち株式等関係損益	0	11
うち貸倒引当金戻入益	—	△ 5
経常利益	8	5
特別損益	0	0
税引前中間純利益	8	5
中間純利益	4	2
与信関係費用	2	7

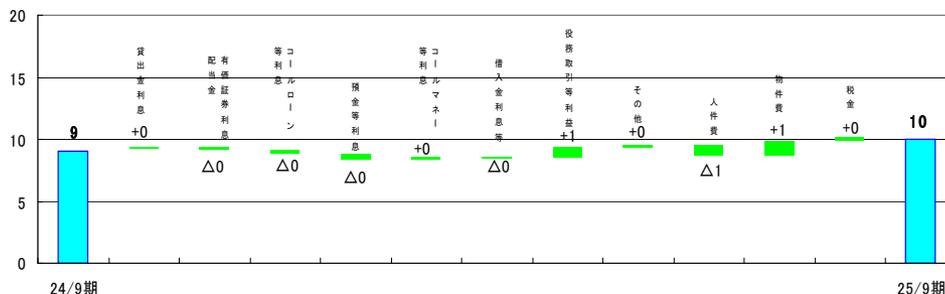
※記載金額は、単位未満を切捨て表示

コア業務純益

10億円(前年同期比 +1億円)

※コア業務純益: 一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益

(億円)



有価証券関係損益

0億円(前年同期比 +11億円)

	(億円)	
	25/9期	前年同期比
国債等債券損益	△ 0	△ 0
売却損益	△ 0	△ 0
償還損益	-	-
株式等損益	0	11
売却損益	0	△ 0
償却額(減損処理)(△)	-	△ 11

与信関係費用

2億円(前年同期比 +7億円)

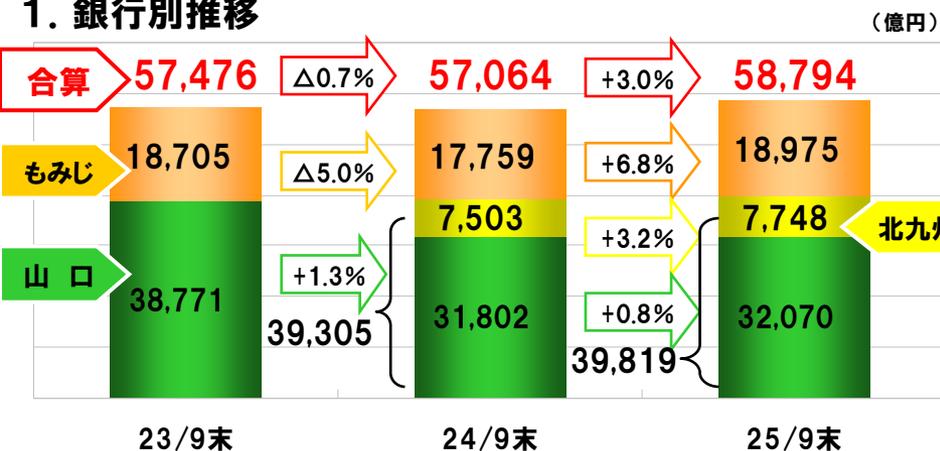
	(億円)	
	25/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△ 1	7
個別貸倒引当金繰入額	4	△ 0

預貸金の状況

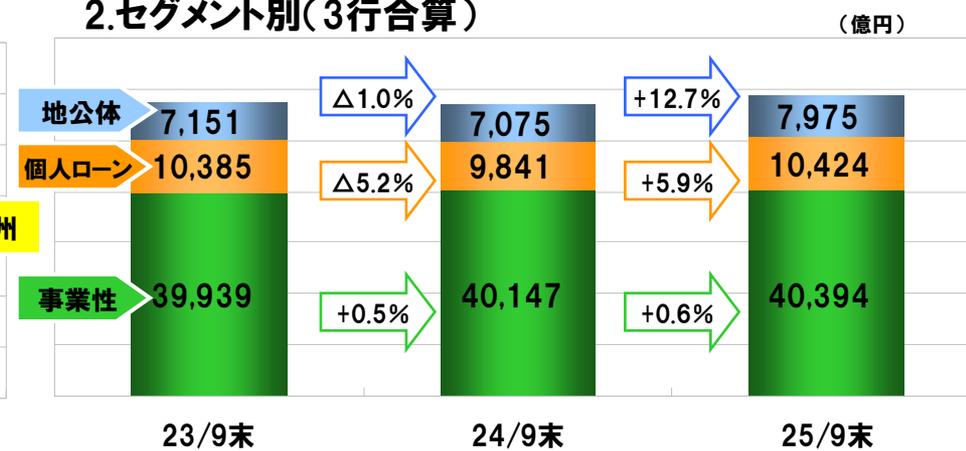
- ◆貸出金：住宅ローン・事業性貸出が堅調に推移し、**前年同期比1,730億円増加**。
- ◆預金：北九州銀行のオーバーローンが解消するなど、**総預金残高は前年同期比1,569億円増加**。

貸出金

1. 銀行別推移

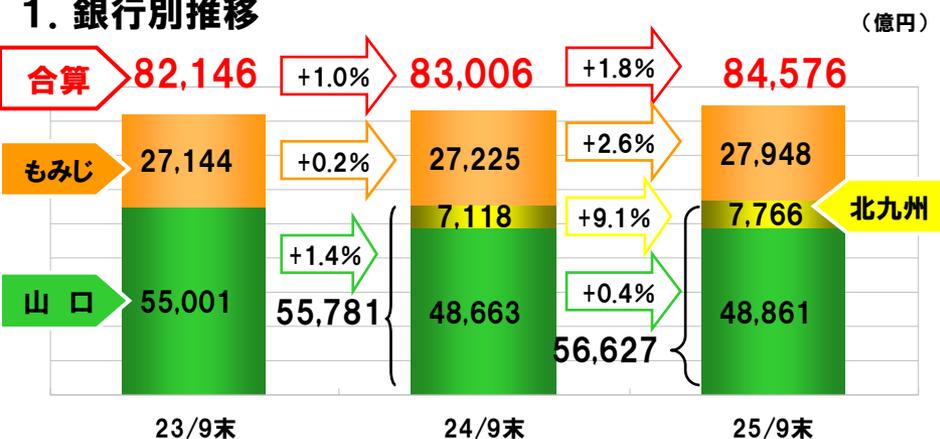


2. セグメント別(3行合算)

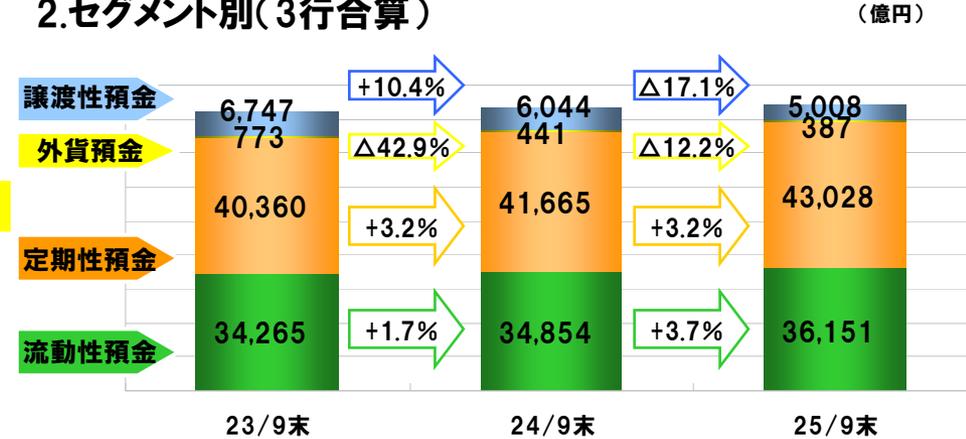


預金

1. 銀行別推移



2. セグメント別(3行合算)



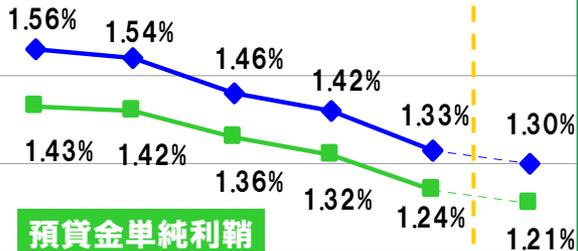
※記載計数は国内店勘定です。

期中平均利回りの推移

- ◆市場金利の低下が継続しており、依然として貸出金利回りは下方推移。
- ◆設備資金の取込等貸出金利回り維持向上を図るとともに、高利回り定期預金の満期到来による預金利回り低下を図る。

山口銀行

貸出金利回り



預貸金単純利鞘

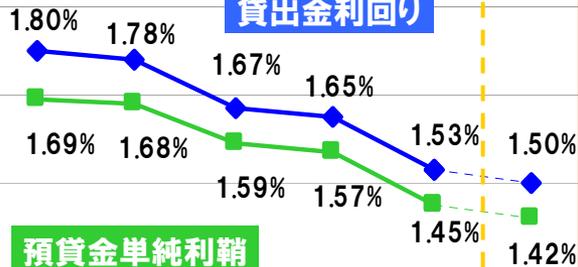
預金利回り



23年度上 23年度下 24年度上 24年度下 25年度上 25年度下
(計画)

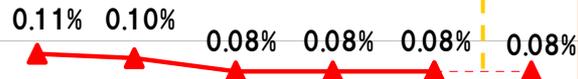
もみじ銀行

貸出金利回り



預貸金単純利鞘

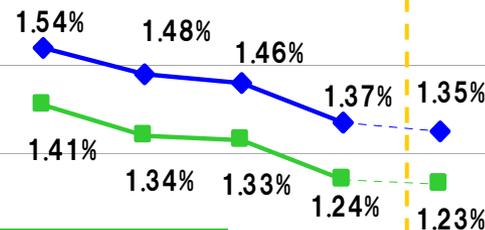
預金利回り



23年度上 23年度下 24年度上 24年度下 25年度上 25年度下
(計画)

北九州銀行

貸出金利回り



預貸金単純利鞘

預金利回り



23年度上 23年度下 24年度上 24年度下 25年度上 25年度下
(計画)

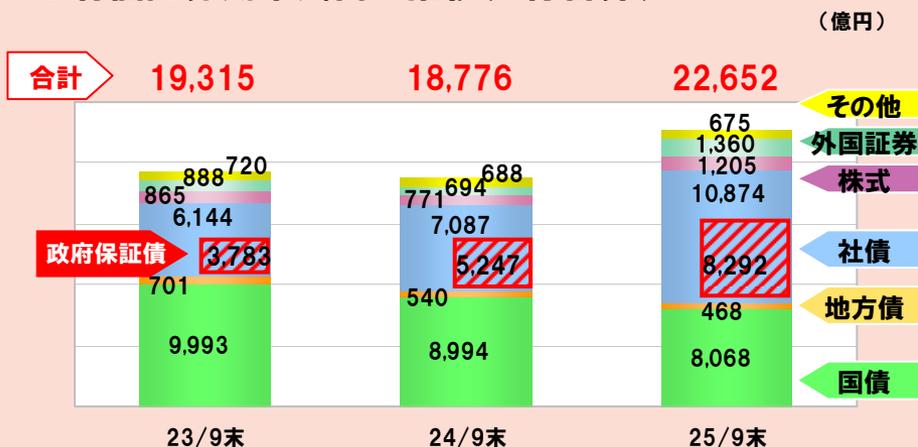
※山口銀行の23年度上半期実績は北九州銀行と合算。

※利回り・利鞘は国内業務部門分(預金についてはNCDを含む)、半期毎の利回りを記載、単位未満を四捨五入で表示。

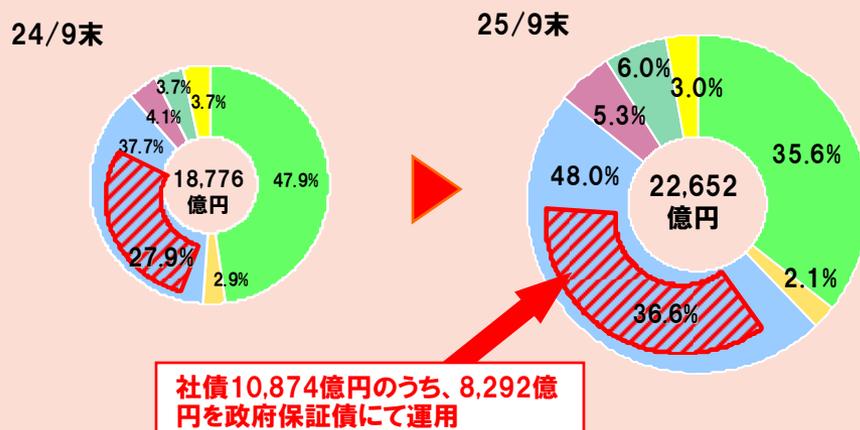
有価証券残高・評価損益の状況

- ◆国内債券を中心に積極的に運用、社債の増加を主因とし残高は前年同期比3,876億円増加。
- ◆株式評価額が増加し、有価証券評価益は前年同期比529億円増加。

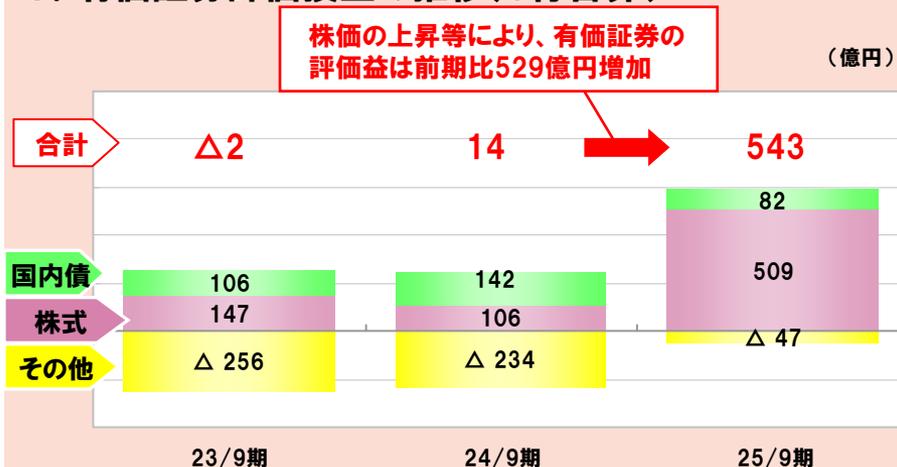
1. 有価証券期末残高の推移(3行合算)



2. 有価証券構成比(3行合算)



3. 有価証券評価損益の推移(3行合算)



4. 保有債券のデュレーション

(年)

山口銀行	24/9期	25/9期	前年同期比
国内債	4.53	4.79	+0.26
外国債券	3.01	3.71	+0.70

もみじ銀行	24/9期	25/9期	前年同期比
国内債	4.44	5.16	+0.72
外国債券	3.22	3.73	+0.51

北九州銀行	24/9期	25/9期	前年同期比
国内債	4.63	6.18	+1.55
外国債券	-	-	-

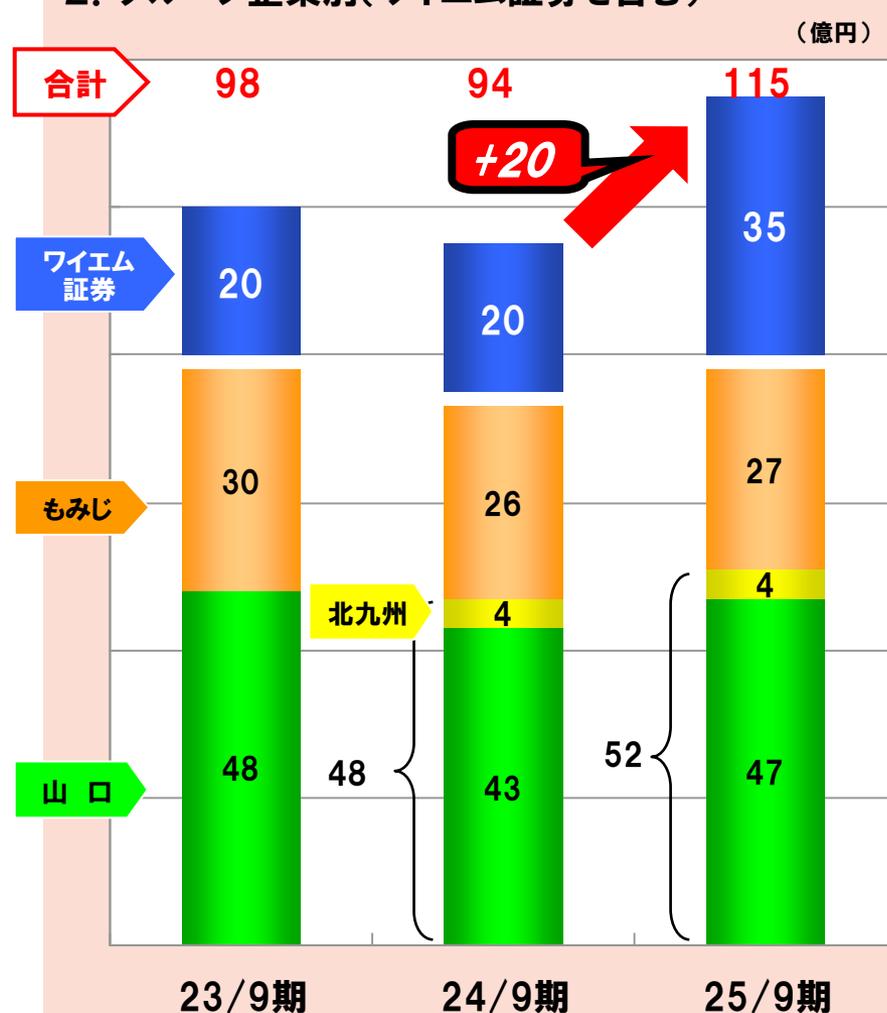
役務収益の推移

- ◆グループ会社であるワイエム証券向けの仲介手数料を中心に、金融商品販売関連の収益が増加。
- ◆銀証連携強化によりワイエム証券の役務収益が伸長し、グループ合算の役務収益は**前期比20億円増加**。

1. 商品別(3行合算)



2. グループ企業別(ワイエム証券を含む)

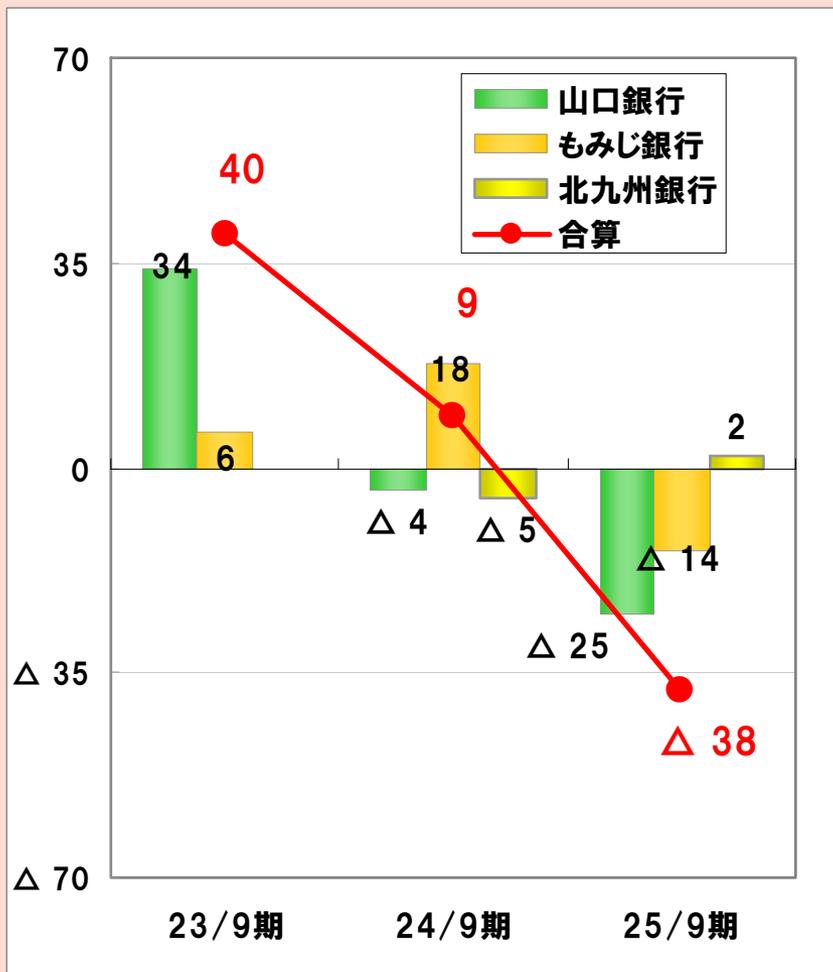


信用コストと不良債権の状況

- ◆与信費用は、山口銀行・もみじ銀行で減少。3行合算で前年同期比47億円減少して△38億円（利益計上）。
- ◆不良債権残高は、前年同期比37億円減少。不良債権比率も前年同期比△0.14%と改善。

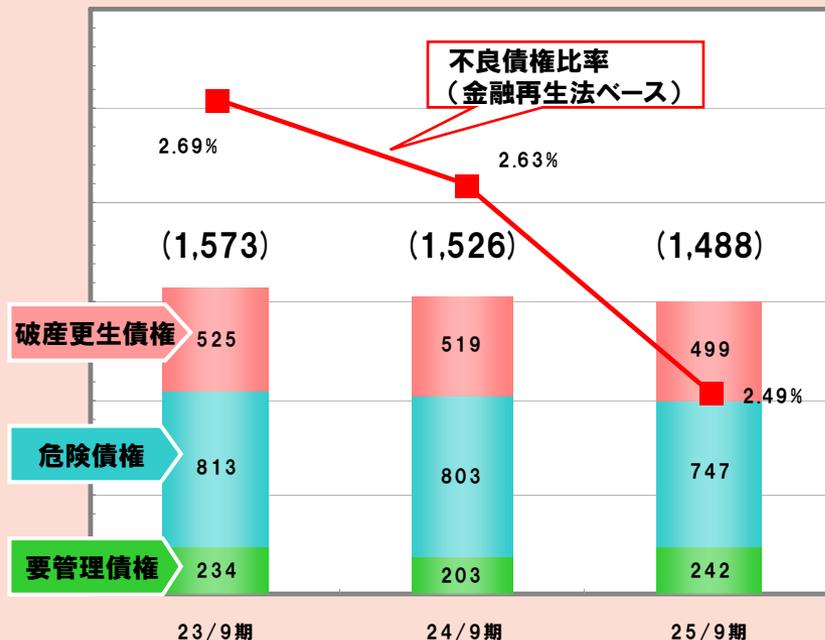
1. 与信費用(3行合算)

(億円)



2. 不良債権残高と不良債権比率(3行合算)

(億円)



[業種別開示債権](3行合算)

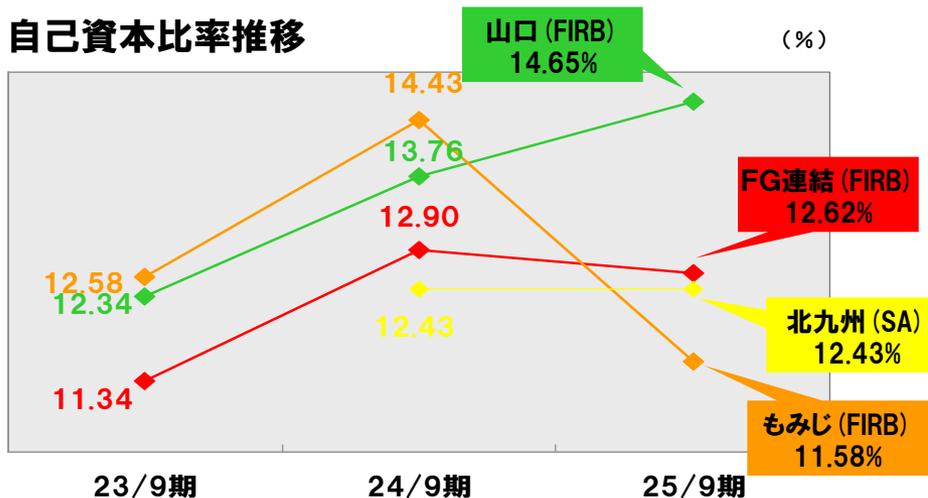
(億円)

	24/9期	25/9期	増減
開示債権合計	1,526	1,488	△ 37
製造業	255	246	△ 8
建設業	219	202	△ 17
卸売・小売業	353	244	△ 109
不動産業	201	162	△ 38
各種サービス業	273	316	43
その他	223	315	91

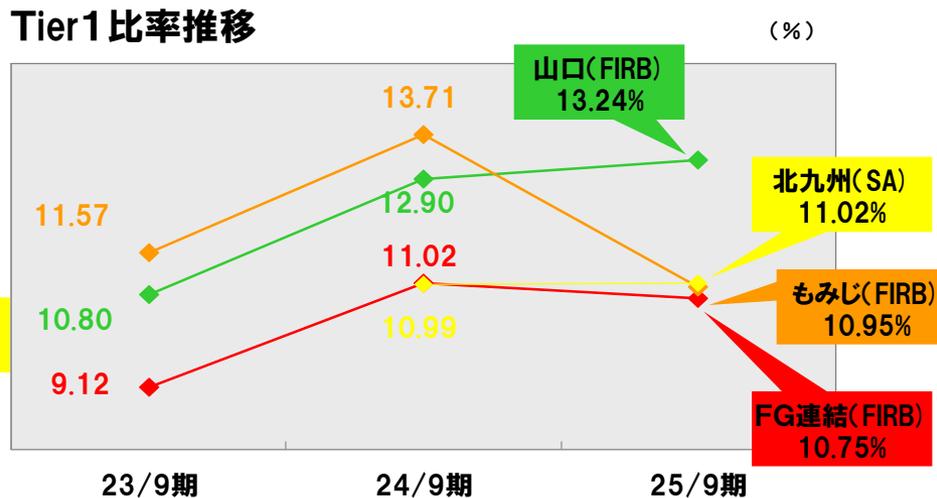
自己資本比率の状況

- ◆山口FGの自己資本比率は、バーゼル3移行後（平成25年3月期より移行）も**12%台後半を維持**。
- ◆平成25年度上期中に**優先株式の全額195億円を消却**、**劣後債の期限前償還200億円を実施**し、**資本の質が改善**。

自己資本比率推移



Tier1 比率推移



自己資本およびリスクアセット

	FG連結		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
	(バーゼル3)	前年同期比	(バーゼル3)	前年同期比	(バーゼル2)	前年同期比	(バーゼル2)	前年同期比
自己資本額	5,120	—	3,080	—	1,543	△ 359	805	15
うちTier1	4,362	—	2,783	—	1,460	△ 347	714	16
うちTier2	757	—	296	—	96	△0	91	△0
控除項目 (△)	—	—	—	—	12	10	0	0
リスクアセット	40,554	—	21,011	—	13,328	150	6,478	121
自己資本比率	12.62%	—	14.65%	—	11.58%	△2.85%	12.43%	△0.00%

※平成25年3月期よりFG（連結）および山口銀行はバーゼル3（国際統一基準）にて算出。もみじ銀行・北九州銀行はバーゼル2（国内基準）にて算出。

※平成24年9月期より信用リスクアセットの算出において、FG（連結）、山口銀行およびもみじ銀行はFIRB（基礎的的内部格付手法）を採用。

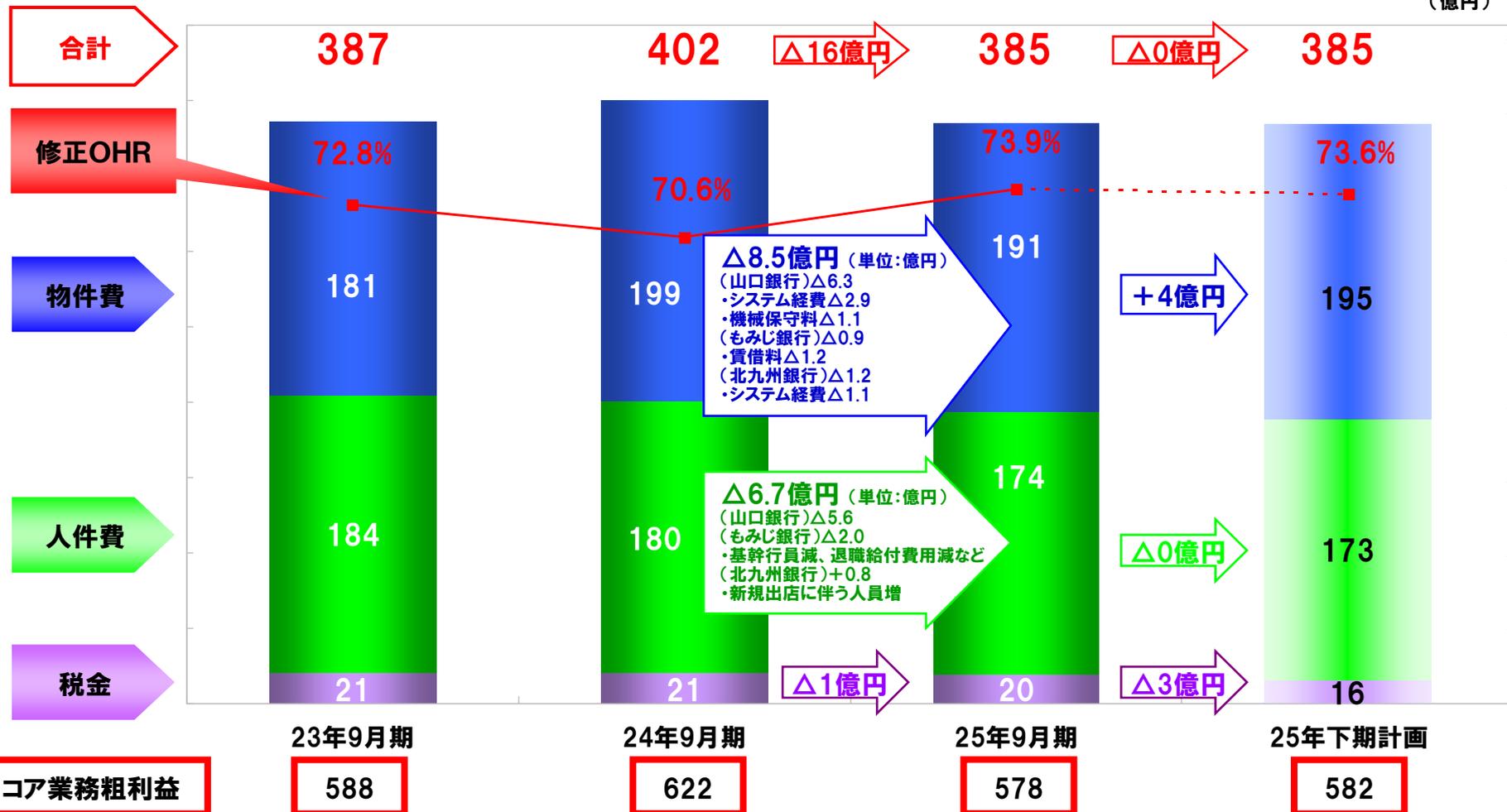
北九州銀行はSA（標準的手法）を採用。

経費の推移と見通し

- ◆ 物件費、人件費ともに減少し、前年同期比▲16億円(グループ3行合算ベース)。
- ◆ 平成27年に山口銀行、平成28年以降にもみじ・北九州銀行の共同化システムの償却が終了しコストダウンを見込む。

3行合算経費と修正OHR(山口FG連結)の推移

(億円)



※ 修正OHR=経費/コア業務粗利益×100

平成26年3月期の業績予想

- ◆平成26年3月期は、前期の貸出債権証券化に伴う譲渡益の計上がなくなったことによりコア業務純益は減少の見通し。
- ◆与信費用の減少、有価証券関係損益の改善により、平成25年3月期を上回る経常利益・当期利益計上を見込む。

1. 山口FG連結業績予想

(単位:億円)	YMFG連結	
	通期予想	25/3比
コア業務粗利益	1,160	△ 25
コア業務純益	305	△ 15
経常利益	450	12
当期利益	275	3
ROE	5.2%	△0.3%
総資産	97,000	3,700
自己資本比率	12.6%	△0.7%

2.3行合算業績予想

(単位:億円)	3行合算	
	通期予想	25/3比
コア業務粗利益	1,089	△ 39
資金収支	938	△ 6
役務収支	138	33
経費(△)	771	△ 15
人件費(△)	347	△ 11
物件費(△)	387	△ 1
コア業務純益	317	△ 24
経常利益	455	△ 2
当期利益	295	△ 9
与信費用	△ 28	△ 29

3. 各行単体業績予想

(単位:億円)	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
	通期予想	25/3比	通期予想	25/3比	通期予想	25/3比
コア業務粗利益	596	16	383	△ 58	109	1
資金収支	503	△ 8	336	2	98	△0
役務収支	86	21	42	10	8	1
経費(△)	381	△ 13	299	△ 2	90	1
人件費(△)	167	△ 8	137	△ 3	42	0
物件費(△)	196	△ 4	146	1	43	0
コア業務純益	214	30	84	△ 55	18	0
経常利益	300	35	140	△ 30	15	△ 5
当期利益	185	18	100	△ 25	10	△ 2
与信費用	△ 24	△ 9	△ 10	△ 29	7	9

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

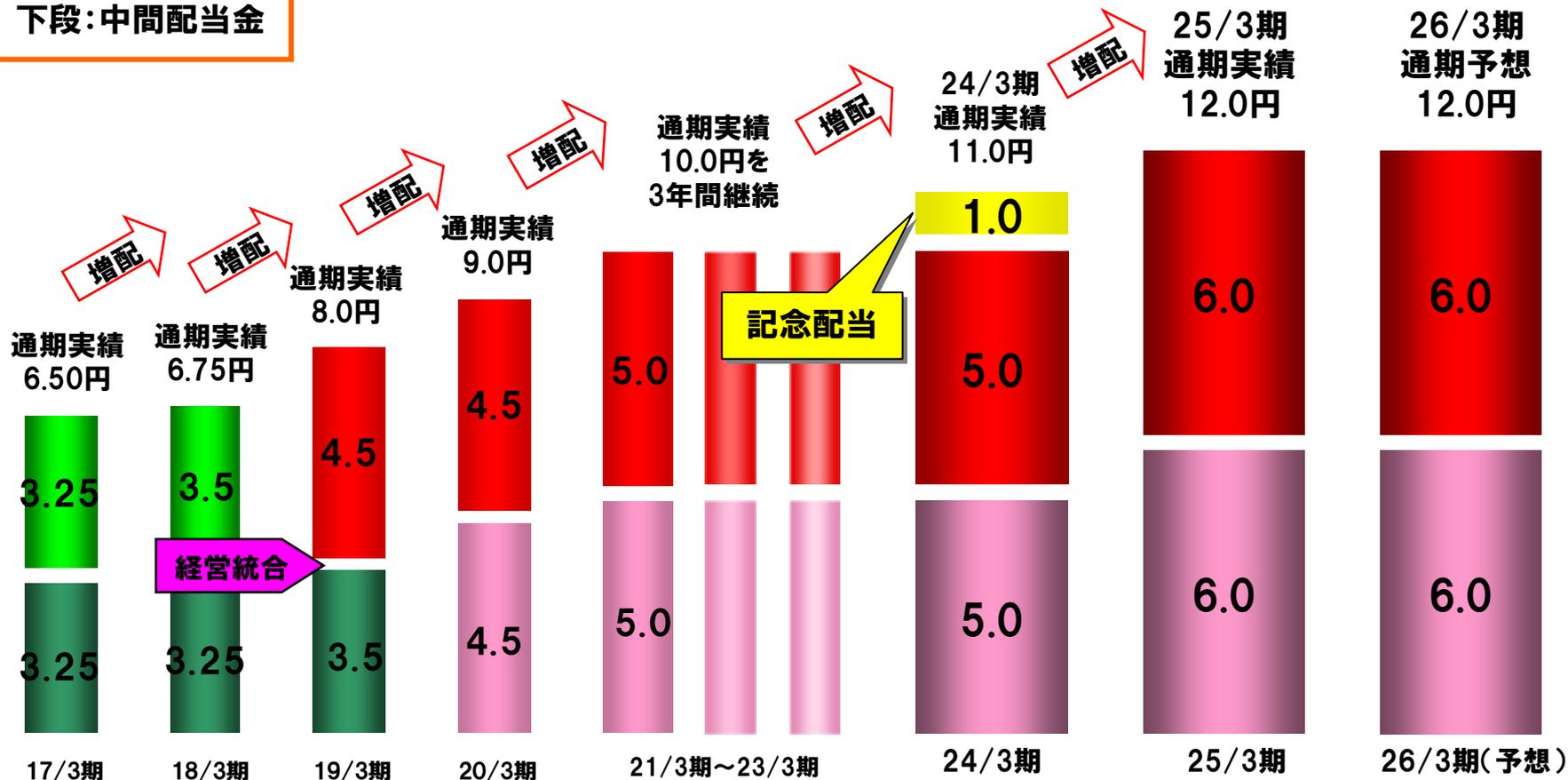
配当実績・計画

- ◆平成26年3月期中間配当金は、平成25年3月期中間配当金実績の6.0円を維持。
- ◆平成26年3月期通期では、年間12.0円の配当を予想。

上段: 期末配当金
 下段: 中間配当金

※平成25年度期末配当金については予想

(円)



山口銀行(単体)

山口FGの配当実績・予想

2.グループ戦略

- ◆共通の目標を掲げグループネットワークを強化し、広域な地元商圈との共栄による地元活性化を図る。
- ◆一つのYMFGへと変革し、経営基盤の更なる増強を達成する。

目指すべき姿

地域を育み、ともに成長する金融グループ～Road to「YMFG ZONE」～

Zone of **O**ver-regional **N**etwork **E**conomy (地域を超えて各地域が密接に連携することで成長する経済圏)

基本目標

「一つのYMFG」への変革による地域との共栄

3つのブランド銀行を持つ金融グループとして、それぞれの地域に深く関わっていくとともに、地域同士を連携させ、地域を育てていく、グループ一体となった「一つのYMFG」へと変革し、グループ総合力の発揮により、地域活性化とYMFGの成長を図っていく。

重点施策

1. 「一つのYMFG」への変革

(1)一つになって「地域」へ

- ①情報ビジネスへの意識転換
- ②地域と深く関わる体制の強化

(2)一つの「YMFG」として

- ①「YMFG」への意識転換
- ②「YMFG」による統制機能の強化

2. 地域とYMFGの共栄

(1)地域の活力を創造する

- ①グループネットワークを活かした連携による地域活性化
- ②アジアの成長の取込

(2)YMFGのファンを増やす

- ①お客さまから頼られるコンサルティング機能の発揮
- ②感動を創造するCSの提供

3. 「一つのYMFG」を支える

経営基盤の強化

グループ間の重複店舗の整理や支店機能の見直し等を行う一方で北九州銀行の店舗拡充を図り、店舗網や営業体制の強化を進め、各銀行がそれぞれのブランドの強みを活かせる地域に深く関わっていく。

積極的な新規店舗進出

- 平成25年 3月 千早支店 開設
苅田支店 開設
- 平成25年 8月 ひびきの支店 開設
- 平成25年下期 相生支店 開設予定



北九州市内を中心に
31支店・出張所

平成23年10月の
開業来、**9**番目の
新規店舗

平成25年9月 山口銀行柳井支店内に共同店舗として柳井支店開設

ワイエム証券

3県主要地区中心に
16支店
(銀行共同店舗13店)

グループ間の重複店舗の整理や支店機能の見直し

- 平成25年5月 大島支店を柳井南支店へ統合
- 平成25年7月 五日市支店を廿日市支店へ統合
- 平成25年8月 平和通支店を広島支店へ統合
- 平成25年10月 古市支店を長門支店へ統合

出張所(無人店舗)の設置

山口銀行平和通支店跡地に、もみじ銀行堺町支店平和通出張所を新規出店
もみじ銀行として約4年半振りの新規出店



県境を越えた
広域金融グループネットワーク

YMFGの国内ネットワーク数 **297**

(平成25年10月31日現在)

- ◆統一イメージキャラクターによる広告展開や、グループ共通商品・キャンペーンの展開。
- ◆グループ内での人材交流の活発化、FGCSスタンダードへの取組など「YMFG」意識の醸成。

◆「応援してください」広告第1弾 (石川佳純選手:山口県出身)



◆「応援してください」広告第2弾 (中本健太郎選手:山口県出身、北九州市の(株)安川電機所属)



◆共通商品・キャンペーンの展開

- ・マイカーローン「金利優遇キャンペーン」
- ・フリーローン「金利優遇キャンペーン」
- ・「NISA Wチャンスキャンペーン」
- ・教育資金一括贈与普通預金〈君の未来へ〉
など

グループ人材戦略(グループ3行)

- ◆グループ人材の競争・連携を意識させることで、一体感を醸成し、「YMFG」への意識を構築。

☆グループ人事の一体化

- ・人事制度プラットフォーム(人事制度の枠組み)の標準化はすでに完了しており、今後は給与水準等の統一を実施する。
- ・現状、本部中心となっている人材交流を営業店でも本格実施していく。
- ・人事機能をグループで一体化し、適材適所の配置を進め、組織を活性化させる。

☆業績表彰制度の統一化

- ・YMFGトップ賞の設置(営業店単位、個人単位)

FGCSスタンダードへの取組

- ◆グループで目指すべきCSとして、グループ共通の取組を実施し、「YMFG」の一員としての意識を強化。

☆FGCSスローガン

- ・「最高品質のCSに挑戦～お客様の感動を創造する企業へ～」をグループ共通のCSスローガンとして設定
- ・グループの一員として必ず守るべきものとして全社員の行動指針

☆「見える化」による意識統一

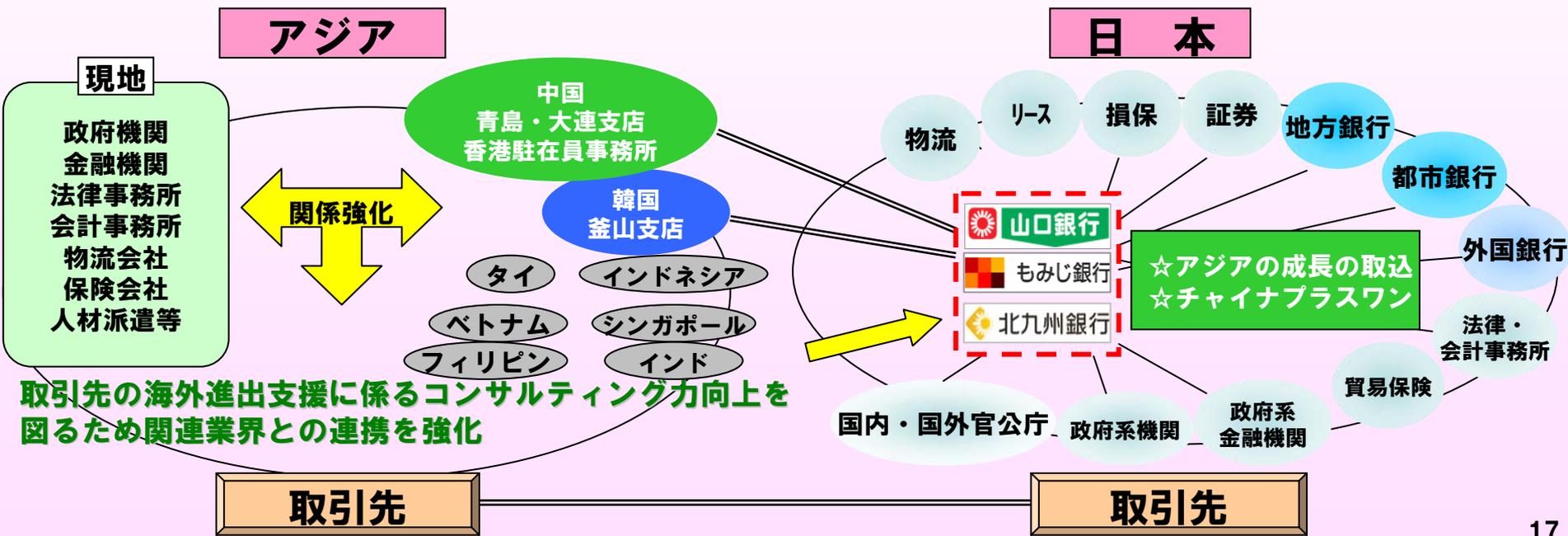
- ・FGCSスタンダード実践DVDのグループ内共有

☆CS専担者によるグループ共通取組

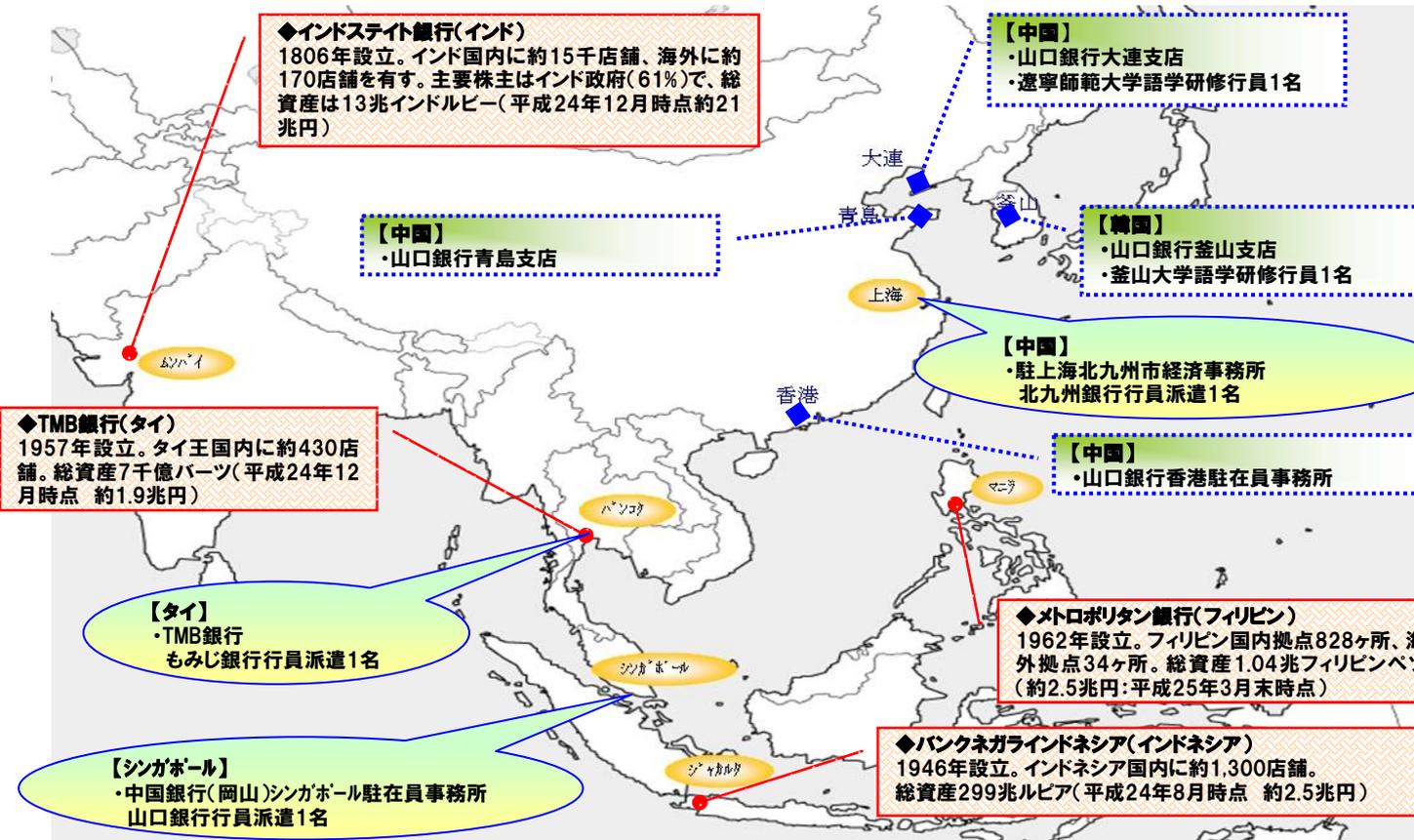
- ・グループ共通のCS評価制度、CS取組施策

- ◆海外進出に係るコンサルティング力向上のため、他業界との連携を推進。
- ◆東南アジア等への進出ニーズに備え、国内他行・外銀との連携を強化。

- ☆東京センチュリーリースとの業務提携（H22年12月）
 - ・海外リース取引、延払貿易取引の紹介
- ☆日本通運との業務提携（H23年11月）
 - ・相互のお客さまに対する金融・物流サービスの提供
 - ・海外投資環境などに関する情報交換
- ☆セコム・総合警備保障との業務提携（H24年11月）
 - ・海外進出にかかるセキュリティーサービスの提供
- ☆損保ジャパン・東京海上日動火災保険・三井住友海上火災保険との業務提携（H24年2月）
 - ・海外リスクマネジメント・コンサルティング支援
- ☆大和証券との業務提携（H23年11月）
 - ・海外M&Aマッチング支援
- ☆中国銀行（岡山）との業務提携（H23年12月）
北陸銀行（富山）との業務提携（H24年5月）
 - ・両行の海外拠点の相互活用
- ☆インステイト銀行・バンクネオ・ライント・ネシア・TMB銀行（タイ）との業務提携（H25年3月）
- ☆メトロリタン銀行（フィリピン）との業務提携（H25年7月）
 - ・現地投資環境等の情報提供
 - ・スタンドバイL/Cによる海外現地法人への資金調達支援等



- ◆業務提携を行った金融機関などにグループ銀行の行員を積極的に派遣し、グローバルな人材を育成。
- ◆平成25年7月に、メトロポリタン銀行（フィリピン）と業務提携し海外進出支援体制を強化。



国際交流への取組

◆外務大臣表彰の受賞
・平成25年7月に、山口銀行青島支店が平成25年度外務大臣表彰を受賞。

「外務大臣表彰」について
日本と諸外国との友好関係に多大な貢献があり、その中でも特段の功績があったと認められた、個人・団体に授与される。

◆受賞の背景
・山口銀行青島支店のこれまでの日中友好親善を目的とした社会貢献および相互理解推進活動が評価されたことによるもの。
・留学生受入支援、山口銀行杯日本語弁論大会の開催等積極的に行なった結果、今回の受賞に結びついた。



(単位：人数)

グローバルな人脈構築のための取組

◆海外からの留学生の受入
・昭和61年より下関市立大学の聴講留学生の受入を開始。
青島市(中国)から始まり、現在は大連・タイ・トルコと多角的に受入を実施。
OBには現地の政府・金融機関の要職者が多く、当行の海外支援のパイプ役となる。

年度	青島	大連	タイ	トルコ	合計
平成24年度	2	1	1	1	5
平成25年度	2	0	1	1	5
過年度累計	55	31	34	26	146

- ◆グループ内コンサルティング会社「ワイエムコンサルティング」によるコンサルティング機能の活用。
- ◆グループ内証券会社「ワイエム証券」を活かした資産運用コンサルティングサービスの提供。

ワイエムコンサルティング



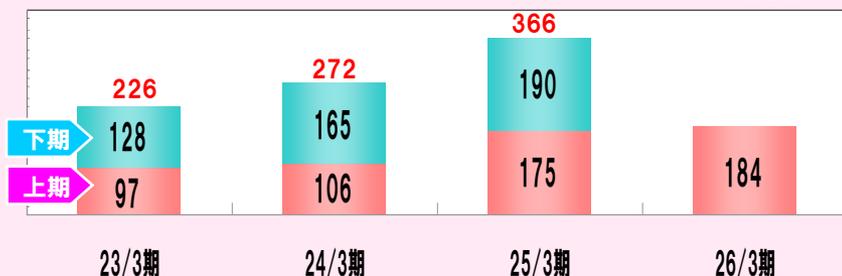
◆YMFVGのコンサルティングサービスの中核を担う総合コンサルティング会社

◆グループ3行のお客様を主体に、多様なコンサルティングニーズ(経営改善・事業承継・相続・システム開発・社員育成など)にお応えし、コンサルティング収入は着実に増加

【下関本社】

コンサルティング収入等推移

(百万円)



「経営革新等支援機関」について

平成25年6月、経営革新等支援機関の認定を受け、中小企業庁補正予算事業となる「認定支援機関による経営改善計画策定支援事業」として、ワイエムコンサルティングの提供するサービスが経営改善計画策定費用他、諸費用に対する補助金支給の対象。

廉価なコンサルティング業務の提供が可能となり、地場の中堅・中小企業が利用しやすいサービス

ワイエム証券



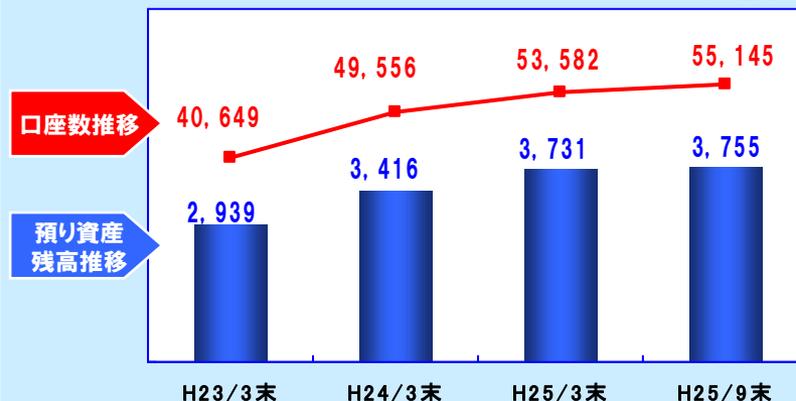
【共同店舗】

◆銀行では取扱いできない幅広い金融商品のラインナップ及び専門的な人材による資産運用コンサルティングサービスを提供する証券会社

◆グループ3行からの仲介を中心とした資産運用ニーズへの積極的な対応により、口座数、預り資産残高ともに堅調に推移

口座数・預り資産残高推移

(件、億円)



「NISA受付状況」(平成25年10月末)

(件)

◆グループの中心となって積極対応を展開。

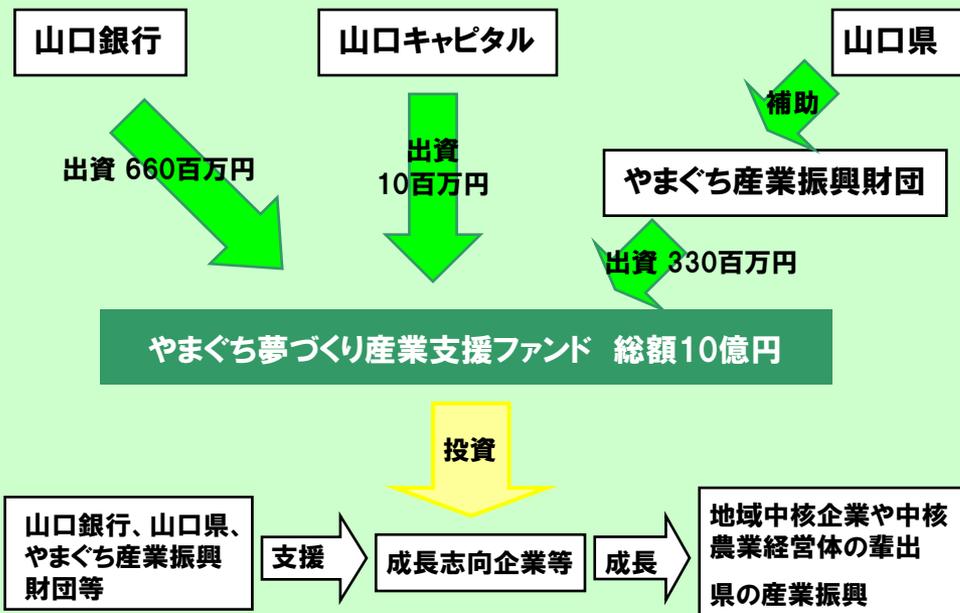
	ワイエム証券
件数	11,583

グループ商圏の活性化の為、地公体や大学等の専門家との連携により商工業・農林水産等分野を多角的に捉えた支援を行う。地域中核企業を創り出し、企業と共に強力な地場を形成。

◆「やまぐち夢づくり産業支援ファンド」の創設（山口銀行）

- ・創設日：平成25年4月5日
- ・創設目的
商工業を中心に農林水産業も含めた総合的な産業力強化を図るため、技術力のある中小企業の成長や農商工連携等に取り組む企業の育成を推進する。
- ・ファンド総額：10億円
- ・存続期間：10年

「やまぐち夢づくり産業支援ファンド」の概要



第1号投資

◆試験開発成型機の量産型への改良開発を支援

- ・投資実施日 平成25年9月
 - ・投資額 3,000万円
- 本事業により、既に試験開発している成型機を量産型成型機に改良（コストダウン及び品質向上）を行う。これにより大量生産が可能となり本格的な販売事業開始を図る。

第2号投資

◆ハイポー豚及び和牛肉加工品の開発・製造を支援

- ・投資実施日 平成25年10月
 - ・投資額 5,000万円
- 自社で生産している、高品質な豚肉・牛肉からの付加価値の高い新商品開発及び販路拡大の為取組。新たな加工場の建設と、これまでの卸売りに加え直売店での積極的な小売事業展開を図る。本件は、国の6次産業化にかかる総合化事業計画に認定。

◆その他、主な連携協力締結

株式会社民間資金等活用事業推進機構（25年10月）、国土交通省及び一般社団法人環境不動産普及促進機構（25年10月）、山口県産業技術センター（25年3月）、宇部市・宇部商工会議所等（24年7月）、広島県立総合技術研究所（24年3月）、九州工業大学（24年3月）等

- ◆成長分野、新たなビジネス機会の提供に努め、地域経済の活性化を図っていく。
- ◆既存事業からの再生支援としてファンドを活用し、新たに収益力のある事業への変革を支援。

◆成長分野への取組

- ・成長分野に特化した専担者の配置(山口銀行、もみじ銀行)
- ・特に環境・医療・農業等の成長分野向けの資金需要に対して、平成22年7月よりグループ独自の「ワイエム成長支援ファンド」にて積極的に対応
- ・山口銀行では、独自の「山口の実り」、「やまぎんアグリサポート」、「やまぎんメディカルサポート」なども設定

【専用商品を利用した実行累計】 (単位:百万円)

	環境	医療	農業
山口銀行	901	405	254
もみじ銀行	3,290	310	100
北九州銀行	299	40	—

◆広域ビジネスマッチング

- ・広域金融グループのネットワークを活かして、平成18年度より開催。
- ・回をかさねる毎に、有効商談数が伸張。
- ・第8回目を迎える平成25年度は、「農業・食・健康」をテーマとして開催予定。

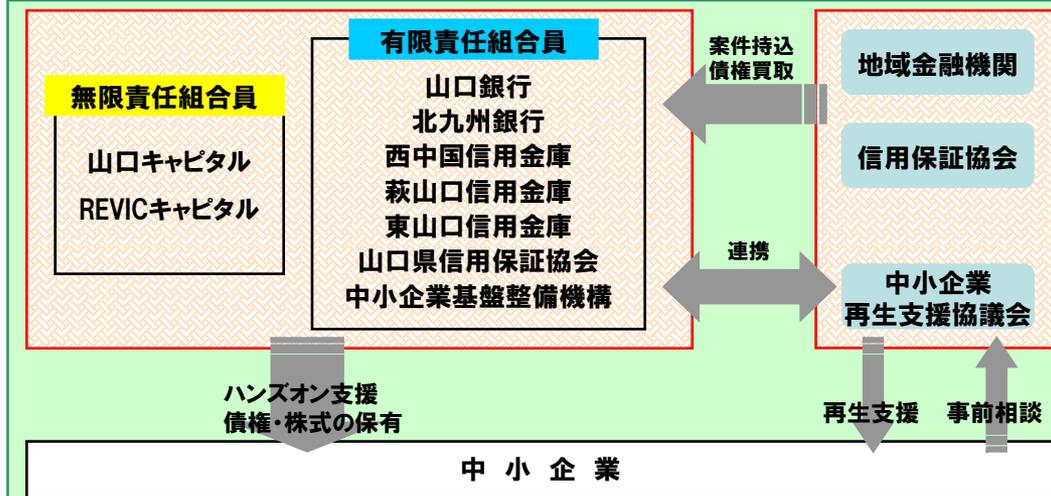
【商談件数実績推移】



◆「やまぐち事業維新ファンド」の創設(山口銀行・北九州銀行)

- ・創設日:平成25年9月30日
- ・創設目的
地域の経済活力や雇用について大きな役割を果たす中小企業の再生支援。
- ・ファンド総額:30億円
- ・存続期間:8年(延長の場合あり)

「やまぐち事業維新ファンド投資事業有限責任組合」の概要



※やまぐち事業維新ファンドの管理・運営は、無限責任組員である山口キャピタル及びREVICキャピタルが行います。
 ※山口キャピタルは、山口銀行の持分法適用関連会社です。
 ※REVICキャピタルは、地域経済活性化支援機構の100%出資子会社です。

◆中小企業再生ファンド「せとみらいファンド」への出資(もみじ銀行)

- ・創設日:平成24年12月1日
- ・創設目的
広島県内の地元金融機関及び(株)日本政策投資銀行との協調出資により組成された事業再生ファンドの活用により、企業に最適なソリューションを提案するとともに、企業の早期事業再生を通じて地域経済の活性化に資する。
- ・ファンド総額:32億円(うち5億円をもみじ銀行にて出資)
- ・存続期間:5年(延長の場合あり)

地域とYMFVGの共栄 ～YMFVGのファンを増やす～

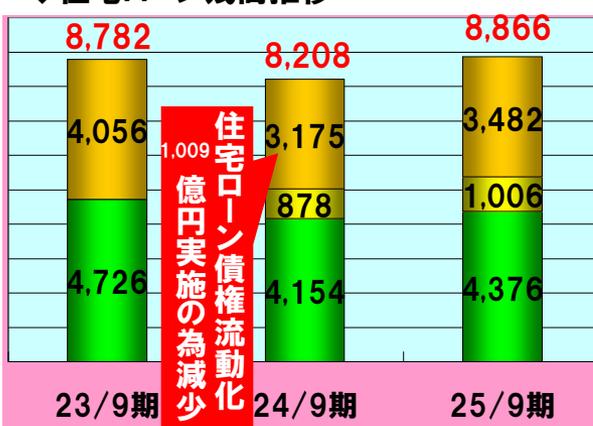
- ◆顧客ニーズに合わせた個人預金・個人年金・個人ローンの提供により年々残高増加。
- ◆地元スポーツ団体とのコラボレーション商品のリリースによる、顧客・銀行一体となつての応援活動。

◆個人預金残高推移 (億円)



・地域の特色を活かした積極的な預金商品の販売により、北九州銀行を中心に個人メイン化を推進。

◆住宅ローン残高推移 (億円)



・推進地区への住宅ローン専担者の配置、休日稼働の専門店舗の展開により、新築案件の獲得と他行肩代わり推進の両立を実現。

◆個人年金保険残高推移 (億円)



・資産運用研修の充実による専門家の育成、女性渉外の積極的な登用による営業力の強化により販売体制を増強。

多彩な年齢層の取り込み

◆世代に応じた商品提供により若者からシルバー世代まで全層のメイン化を図る。

- ・若年層、子育て層⇒コンビニATM手数料時間内無料化による利便性の追求
- ・富裕層⇒会員制サービス「YMDリーム倶楽部」での優遇サービスの提供
- ・フレ年金受給者層⇒年金受取手続きのご案内、「退職記念」定期預金での退職金集約によるシルバー時代の相談役としての存在感



【カープデザイン通帳】



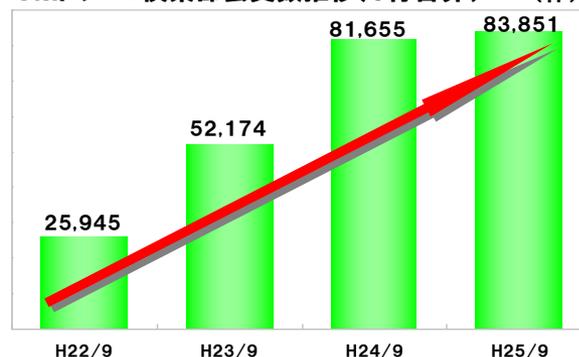
【ギラヴァンツ定期預金】



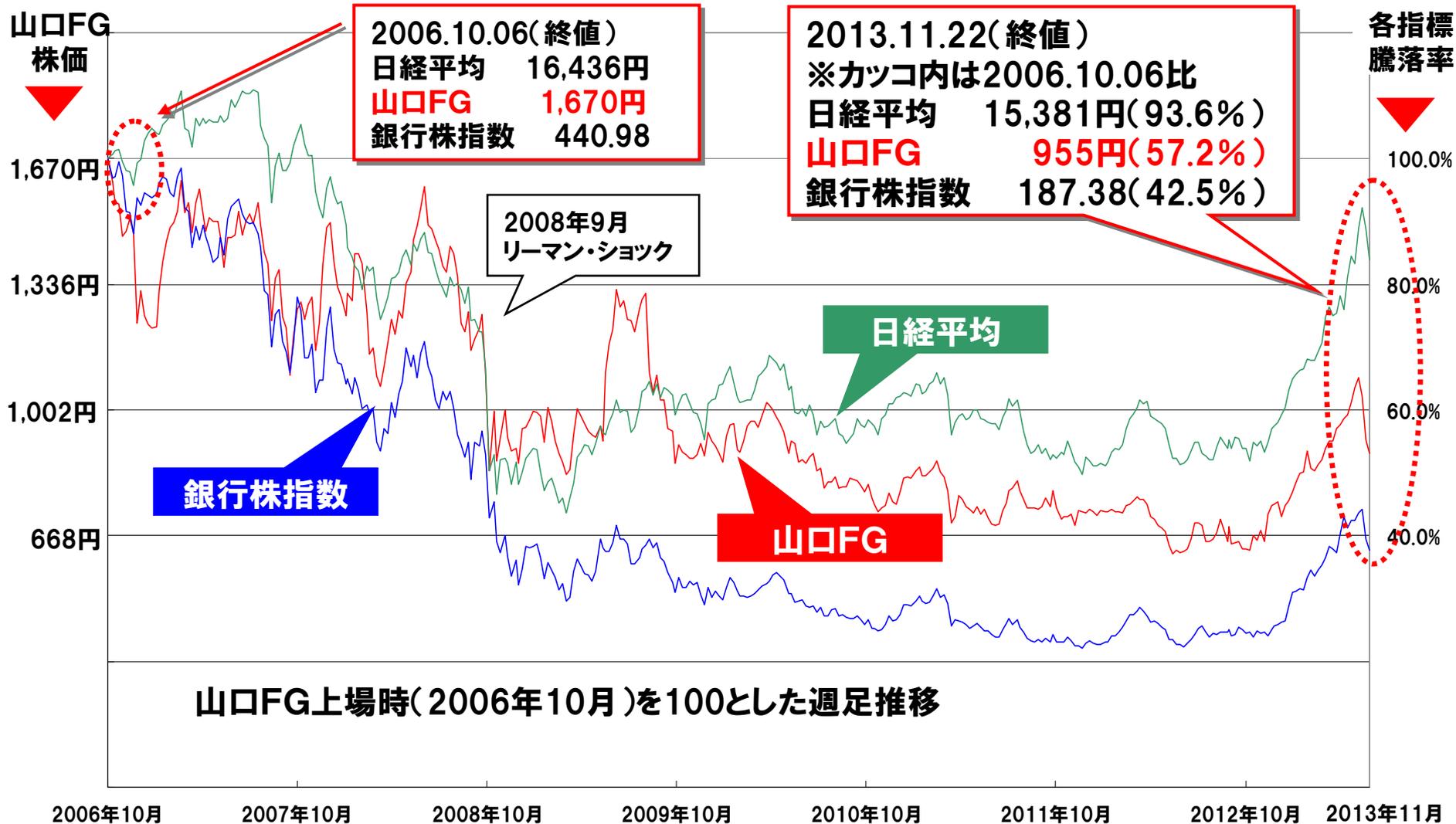
「退職記念」平成25年10月末実績
(平成25年3月より取扱開始)

	件数	金額
3行合算	403件	54億円

YMDリーム倶楽部会員数推移(3行合算) (件)



- ◆ 2006年10月に上場して以降、2008年頃からは銀行株指数を上回って推移。
- ◆ 直近の山口FG株価は955円(山口FG上場時比57.2%)。



3.資料編

業績推移(1) FG連結・3行合算

FG連結 (億円)

	21/3期 (通期)	22/3期 (通期)	22/9期 (半期)	23/3期 (通期)	23/9期 (半期)	24/3期 (通期)	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	1,227	1,199	582	1,181	558	1,169	622	1,185	578	△ 44
コア業務純益	385	373	123	299	159	277	182	319	150	△ 31
経常利益	195	390	143	357	167	363	191	438	253	62
当期利益	137	267	80	191	87	179	122	272	158	35
ROE	3.31%	6.19%	3.54%	4.23%	3.92%	3.92%	5.18%	5.52%	6.11%	0.93%
総資産	77,772	86,475	88,201	87,581	89,865	91,154	90,830	93,272	93,143	2,312
BIS比率	9.67%	11.13%	11.38%	11.36%	11.34%	11.75%	12.90%	13.34%	12.62%	—

3行合算 (億円)

	21/3期 (通期)	22/3期 (通期)	22/9期 (半期)	23/3期 (通期)	23/9期 (半期)	24/3期 (通期)	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	1,200	1,152	575	1,149	564	1,120	599	1,128	544	△ 55
資金収支	1,058	1,029	536	1,051	512	1,008	478	945	477	△ 1
役務収支	123	105	51	102	48	102	46	104	63	16
経費	773	753	420	810	387	810	402	786	385	△ 16
人件費	379	376	194	380	184	369	180	359	174	△ 6
物件費	355	339	196	384	181	395	199	389	191	△ 8
コア業務純益	426	398	155	338	176	309	196	341	158	△ 38
経常利益	240	418	195	425	184	393	200	457	250	49
当期利益	185	303	130	264	111	215	137	304	163	25
与信関係費用	101	31	33	27	40	4	9	1	△38	△47

※記載金額の単位未満は切捨て表示

業績推移(2) 各行単体

各行単体

(億円)

		21/3期 (通期)	22/3期 (通期)	22/9期 (半期)	23/3期 (通期)	23/9期 (半期)	24/3期 (通期)	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	前年同期比
山口銀行	コア業務粗利益	744	718	368	733	359	665	284	579	291	6
	資金収支	666	647	346	672	325	594	257	511	252	△ 5
	役務収支	69	68	33	68	33	66	29	65	39	9
	経費	461	444	267	503	235	443	204	395	192	△ 12
	人件費	241	237	122	234	109	199	89	176	84	△ 5
	物件費	198	187	124	239	113	223	103	201	97	△ 6
	コア業務純益	283	273	100	230	123	221	80	184	99	19
	経常利益	142	259	132	283	119	262	93	265	162	69
	当期利益	112	162	86	176	71	138	57	167	100	43
	与信関係費用	104	67	31	45	34	21	△ 4	△ 14	△ 25	△ 21
もみじ銀行	コア業務粗利益	455	434	207	415	204	402	261	441	198	△ 62
	資金収支	391	382	189	379	187	365	171	334	176	4
	役務収支	53	36	17	33	15	33	14	32	20	6
	経費	312	308	152	307	151	322	153	301	150	△ 3
	人件費	137	138	72	146	74	149	70	141	68	△ 2
	物件費	156	152	71	144	68	150	74	144	73	△ 0
	コア業務純益	142	125	54	108	52	79	107	139	48	△ 58
	経常利益	94	120	63	121	64	113	103	170	78	△ 24
	当期利益	73	141	43	88	40	74	78	125	57	△ 20
	与信関係費用	△ 2	△ 35	2	△ 18	6	△ 6	18	18	△ 14	△ 33
北九州銀行	コア業務粗利益						53	53	108	53	0
	資金収支						48	49	99	48	△ 0
	役務収支						3	3	7	3	0
	経費						44	44	89	43	△ 0
	人件費						19	20	41	20	0
	物件費						21	21	43	20	△ 1
	コア業務純益						8	9	18	10	1
	経常利益						17	3	20	8	5
	当期利益						2	2	12	4	2
	与信関係費用						△ 11	△ 5	△ 1	2	7

※記載金額の単位未満は切捨て表示

貸出金推移(末残)

山口銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	前年同期比
国内貸出金合計	36,404	38,163	38,204	38,333	38,771	31,854	31,802	32,000	32,070	268
法人貸出金	26,953	27,388	27,389	27,031	27,782	21,475	22,050	22,024	21,973	△ 76
大企業	9,132	9,775	9,656	9,699	10,183	9,638	9,884	10,034	10,323	439
中堅企業	1,308	1,283	1,573	1,531	1,566	989	1,022	971	904	△ 118
中小企業等	16,512	16,125	16,159	15,801	16,032	11,230	11,143	11,018	10,745	△ 398
地公体	3,239	4,410	4,368	4,677	4,488	4,738	4,648	4,771	4,852	203
外郭団体	1,008	944	825	946	818	428	190	166	143	△ 47
個人ローン	5,201	5,625	5,622	5,679	5,682	4,828	4,912	5,037	5,101	189
住宅ローン	4,406	4,632	4,646	4,714	4,726	4,058	4,154	4,287	4,376	221
その他ローン	796	992	976	964	955	770	757	750	724	△ 32

もみじ銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	前年同期比
国内貸出金合計	18,602	18,878	18,683	18,912	18,705	18,797	17,759	18,279	18,975	1,216
法人貸出金	13,021	12,757	12,525	12,344	12,157	12,126	12,130	12,154	12,406	276
大企業	2,866	2,630	2,579	2,878	2,903	2,925	3,483	3,593	3,553	69
中堅企業	761	1,170	1,148	761	844	804	596	582	600	3
中小企業等	9,394	8,956	8,797	8,704	8,409	8,397	8,049	7,978	8,252	202
地公体	1,169	1,476	1,553	1,719	1,739	1,760	1,736	2,101	2,447	710
外郭団体	167	205	61	205	105	134	70	64	69	△ 0
個人ローン	4,243	4,438	4,543	4,642	4,703	4,776	3,822	3,958	4,051	229
住宅ローン	3,435	3,701	3,723	3,963	4,056	4,111	3,175	3,351	3,482	307
その他ローン	807	737	819	678	646	665	647	606	569	△ 77

北九州銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	前年同期比
国内貸出金合計						7,231	7,503	7,654	7,748	245
法人貸出金						5,791	5,967	6,003	6,014	47
大企業						605	726	832	825	98
中堅企業						521	566	552	504	△ 62
中小企業等						4,664	4,674	4,618	4,684	10
地公体						399	400	389	388	△ 11
外郭団体						20	29	55	74	44
個人ローン						1,020	1,106	1,206	1,271	164
住宅ローン						810	878	956	1,006	128
その他ローン						210	228	249	264	35

※計測は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

預金推移(末残)

山口銀行

(億円)

		21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	前年同期比
預金		43,640	47,387	48,065	48,282	49,867	43,703	44,489	45,780	45,900	1,410
内容別	一般	41,008	44,276	44,946	43,939	45,515	40,028	40,338	41,543	41,833	1,494
	公金	2,064	2,306	2,677	2,454	2,762	2,752	2,532	2,505	2,706	174
	金融	566	803	442	1,888	1,589	922	1,619	1,731	1,360	△ 258
商品別	邦貨定期性預金	22,239	24,547	25,706	24,384	25,890	22,173	23,622	23,694	24,348	725
	邦貨流動性預金	21,093	22,527	21,974	23,504	23,568	21,248	20,648	21,849	21,327	679
	外貨預金	307	311	384	394	408	281	218	236	224	5
譲渡性預金		2,517	4,178	5,173	4,013	5,134	4,759	4,173	3,340	2,961	△ 1,211

もみじ銀行

(億円)

		21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	前年同期比
預金		24,748	26,520	25,978	26,068	25,531	25,995	25,833	26,122	26,464	631
内容別	一般	24,043	25,287	24,995	25,454	24,956	25,648	25,453	25,816	26,059	606
	公金	390	731	646	253	246	101	266	116	278	12
	金融	315	501	336	361	328	245	112	190	125	12
商品別	邦貨定期性預金	14,289	15,111	14,897	14,768	14,470	14,738	14,338	14,456	14,416	77
	邦貨流動性預金	10,007	10,454	10,443	10,807	10,696	11,156	11,405	11,577	11,981	576
	外貨預金	451	954	638	492	364	99	89	88	66	△ 22
譲渡性預金		145	444	914	1,557	1,612	1,915	1,392	2,079	1,484	91

北九州銀行

(億円)

		21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	前年同期比
預金							6,377	6,638	6,842	7,203	564
内容別	一般						6,271	6,380	6,759	6,915	535
	公金						46	212	28	225	13
	金融						59	46	55	61	15
商品別	邦貨定期性預金						3,379	3,704	3,971	4,263	559
	邦貨流動性預金						2,871	2,800	2,751	2,842	42
	外貨預金						126	133	119	96	△ 36
譲渡性預金							449	479	427	562	83

※計数は国内勘定のみ(もみじ銀行は非居住者円預金を含む)。記載金額は単位未満を切捨て表示

資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

山口銀行

(単位:億円)

	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	前年同期比
資産運用勘定計	45,607	49,473	52,239	52,106	53,356	50,719	48,234	48,589	50,390	2,156
貸出金	33,976	35,980	36,506	36,587	36,726	33,656	30,445	30,803	31,707	1,262
有価証券	10,062	10,417	11,713	12,317	11,908	12,371	13,416	13,591	15,077	1,661
コールローン	948	2,646	3,732	2,917	3,971	4,082	4,142	3,927	3,158	△ 984
資産調達勘定計	43,555	47,404	50,182	50,047	51,398	49,049	46,738	46,981	48,748	2,010
預金	41,784	44,183	46,237	46,104	47,097	44,506	42,158	42,944	45,170	3,012
譲渡性預金	2,142	3,627	4,178	4,181	4,701	4,838	4,808	4,168	3,327	△ 1,481
コールマネー	376	300	412	393	111	253	346	396	608	262

もみじ銀行

(単位:億円)

	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	前年同期比
資産運用勘定計	24,666	26,026	26,894	26,893	26,916	27,087	27,059	27,102	27,630	571
貸出金	17,428	18,416	18,521	18,486	18,558	18,562	18,431	18,024	18,418	△ 13
有価証券	6,732	6,675	7,410	7,598	7,325	7,446	6,941	7,310	8,427	1,486
コールローン	437	902	915	767	958	1,001	1,620	1,700	724	△ 896
資産調達勘定計	24,375	25,573	26,266	26,188	26,123	26,262	26,286	26,832	27,465	1,179
預金	23,662	24,765	25,413	25,333	25,096	25,049	25,281	25,325	25,907	626
譲渡性預金	298	397	483	590	848	1,027	828	880	1,379	551
コールマネー	18	19	7	7	6	9	8	9	11	3

北九州銀行

(単位:億円)

	21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	前年同期比
資産運用勘定計						7,208	7,319	7,500	7,841	522
貸出金						6,774	7,011	7,194	7,581	570
有価証券						155	148	148	135	△ 13
コールローン						251	124	123	89	△ 35
資産調達勘定計						6,703	6,844	7,024	7,378	534
預金						5,997	6,087	6,307	6,775	688
譲渡性預金						418	464	415	556	92
コールマネー						501	288	297	42	△ 246

※北九州銀行については開業後平残。金額は単位未満を四捨五入表示。

山口銀行

		21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	前年同期比
資金運用利回	①	1.852	1.564	1.462	1.356	1.356	1.302	1.177	1.164	1.103	△ 0.074
貸出金利回	ア	1.930	1.736	1.642	1.618	1.558	1.537	1.461	1.431	1.339	△ 0.122
有価証券利回		1.659	1.346	1.557	1.295	1.163	1.056	0.843	0.841	0.811	△ 0.032
コールローン利回		1.548	0.219	0.181	0.251	0.214	0.195	0.147	0.160	0.174	△ 0.027
資金調達利回	②	0.408	0.267	0.199	0.179	0.145	0.135	0.116	0.115	0.108	△ 0.008
預金利回		0.365	0.257	0.194	0.172	0.136	0.123	0.099	0.098	0.096	△ 0.003
譲渡性預金利回		0.650	0.319	0.179	0.169	0.140	0.141	0.146	0.147	0.116	△ 0.030
コールマネー利回		2.928	0.663	0.572	0.647	1.409	1.038	0.974	0.891	0.513	△ 0.461
経費率	③	1.059	0.938	1.063	1.005	0.914	0.904	0.872	0.841	0.786	△ 0.086
資金調達原価	(②+③)	1.467	1.205	1.262	1.184	1.059	1.039	0.988	0.956	0.894	△ 0.094
総資金利鞘	(①-④)	0.385	0.359	0.200	0.172	0.297	0.263	0.189	0.208	0.209	△ 0.020
預金等原価	イ	1.429	1.192	1.251	1.172	1.044	1.024	0.972	0.941	0.887	△ 0.085
預金等利回	ウ	0.379	0.261	0.192	0.172	0.136	0.124	0.104	0.103	0.097	△ 0.007
経費率		1.050	0.930	1.058	1.000	0.907	0.899	0.868	0.838	0.790	△ 0.078
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.501	0.544	0.391	0.446	0.514	0.513	0.489	0.490	0.452	△ 0.037
単純預貸金利鞘	(ア-ウ)	1.551	1.475	1.450	1.446	1.422	1.413	1.357	1.328	1.242	△ 0.115
単純預証利鞘		1.280	1.085	1.365	1.123	1.027	0.932	0.739	0.738	0.714	△ 0.025

もみじ銀行

		21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	前年同期比
資金運用利回	①	1.941	1.746	1.624	1.592	1.511	1.457	1.351	1.317	1.357	0.006
貸出金利回	ア	2.246	2.021	1.912	1.892	1.807	1.781	1.668	1.653	1.534	△ 0.134
有価証券利回		1.170	1.099	0.968	0.897	0.872	0.783	0.783	0.725	1.066	△ 0.283
コールローン利回		0.429	0.130	0.129	0.135	0.146	0.144	0.124	0.120	0.115	△ 0.009
資金調達利回	②	0.358	0.282	0.222	0.186	0.128	0.113	0.087	0.084	0.085	△ 0.002
預金利回		0.319	0.259	0.203	0.174	0.124	0.108	0.081	0.078	0.078	△ 0.003
譲渡性預金利回		0.606	0.296	0.218	0.194	0.167	0.155	0.148	0.139	0.114	△ 0.034
コールマネー利回		3.690	0.895	0.660	0.658	0.903	0.849	0.395	0.297	0.225	△ 0.170
経費率	③	1.282	1.208	1.159	1.175	1.158	1.227	1.167	1.144	1.091	△ 0.076
資金調達原価	(②+③)	1.640	1.490	1.381	1.361	1.286	1.340	1.254	1.228	1.176	△ 0.078
総資金利鞘	(①-④)	0.301	0.256	0.243	0.231	0.225	0.117	0.097	0.089	0.181	0.084
預金等原価	イ	1.627	1.488	1.379	1.362	1.292	1.346	1.258	1.232	1.179	△ 0.079
預金等利回	ウ	0.322	0.260	0.203	0.175	0.125	0.110	0.083	0.080	0.080	△ 0.003
経費率		1.304	1.228	1.175	1.187	1.166	1.235	1.175	1.152	1.098	△ 0.077
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.619	0.533	0.533	0.530	0.515	0.435	0.410	0.421	0.355	△ 0.055
単純預貸金利鞘	(ア-ウ)	1.924	1.761	1.709	1.717	1.682	1.671	1.585	1.573	1.454	△ 0.131
単純預証利鞘		0.848	0.839	0.765	0.722	0.747	0.673	0.700	0.645	0.986	△ 0.286

北九州銀行

		21/3期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	前年同期比
資金運用利回	①						1.483	1.479	1.455	1.372	△ 0.107
貸出金利回	ア						1.546	1.482	1.462	1.375	△ 0.107
有価証券利回							0.592	2.193	1.960	1.987	△ 0.206
コールローン利回							0.467	0.743	0.671	0.395	△ 0.348
資金調達利回	②						0.140	0.139	0.139	0.138	△ 0.001
預金利回							0.131	0.136	0.137	0.136	0.000
譲渡性預金利回							0.231	0.161	0.155	0.131	△ 0.030
コールマネー利回							0.130	0.115	0.116	0.119	0.004
経費率	③						1.339	1.289	1.280	1.177	△ 0.112
資金調達原価	(②+③)						1.479	1.428	1.419	1.316	△ 0.112
総資金利鞘	(①-④)						0.004	0.051	0.036	0.056	0.005
預金等原価	イ						1.587	1.484	1.476	1.321	△ 0.163
預金等利回	ウ						0.138	0.137	0.138	0.135	△ 0.002
経費率							△ 0.041	1.346	1.338	1.185	△ 0.161
預貸金利鞘	(ア-イ)						△ 0.041	△ 0.002	△ 0.014	0.054	0.056
単純預貸金利鞘	(ア-ウ)						1.408	1.345	1.324	1.240	△ 0.105
単純預証利鞘							0.454	2.056	1.822	1.852	△ 0.204

※単位未満を四捨五入して表示。

債務者区分の遷移状況(平成25年3月末⇒平成25年9月末)

(1)山口銀行

(億円)

			25年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
25年3月末	正常先	22,979	22,353	309	1	0	0	-	313	
	要注意先	その他	4,578	423	3,929	11	6	0	0	206
		要管理先	176	-	23	144	4	0	-	2
	破綻懸念先	419	-	11	2	390	5	1	7	
	実質破綻先	88	-	-	-	8	76	0	2	
	破綻先	73	-	-	-	0	-	68	4	

ランクダウン343億円

ランクアップ470億円

(2)もみじ銀行

(億円)

			25年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
25年3月末	正常先	10,864	10,376	387	0	3	0	0	95	
	要注意先	その他	3,401	204	3,093	9	15	3	2	72
		要管理先	74	-	2	70	0	-	-	0
	破綻懸念先	236	0	10	-	210	8	1	6	
	実質破綻先	91	-	-	-	0	80	8	2	
	破綻先	127	-	-	-	-	-	122	4	

ランクダウン441億円

ランクアップ218億円

(3)北九州銀行

(億円)

			25年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
25年3月末	正常先	4,369	3,725	546	1	0	-	-	95	
	要注意先	その他	2,499	130	2,284	14	10	0	0	59
		要管理先	31	-	6	17	-	1	-	6
	破綻懸念先	83	-	1	0	79	1	1	0	
	実質破綻先	40	-	-	-	-	35	4	0	
	破綻先	58	-	-	-	-	-	56	1	

ランクダウン582億円

ランクアップ138億円

(注)

- 対象債務者は個人消費者以外。
- 山口銀行、北九州銀行の前期末時点の債務者区分別与信額は、平成23年10月の会社分割を考慮し、取扱店舗で分割させたもの。
- 前期末時点の債務者区分別与信額を当期末時点の債務者区分別に分類し、期中の与信額の増減は考慮しない。
- 「その他」は、全額回収・売却等により当期末時点において、残高がゼロになった先の与信額。

債務者区分の遷移状況(平成24年9月末⇒平成25年9月末)

(1)山口銀行

(億円)

			25年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
24年9月末	正常先	23,099	22,012	535	1	0	0	-	547	
	要注意先	その他	4,368	602	3,492	111	27	3	0	130
		要管理先	96	-	36	43	4	0	-	10
	破綻懸念先	428	0	17	7	374	20	2	6	
	実質破綻先	80	-	-	-	8	63	5	2	
	破綻先	80	-	-	-	0	-	67	12	

ランクダウン715億円

ランクアップ673億円

(2)もみじ銀行

(億円)

			25年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
24年9月末	正常先	10,518	9,435	562	0	4	1	0	513	
	要注意先	その他	3,446	295	2,934	64	32	6	6	106
		要管理先	20	-	3	15	0	-	-	1
	破綻懸念先	260	0	7	-	199	18	19	15	
	実質破綻先	81	-	-	-	0	74	3	3	
	破綻先	125	-	-	-	-	-	114	10	

ランクダウン720億円

ランクアップ306億円

(3)北九州銀行

(億円)

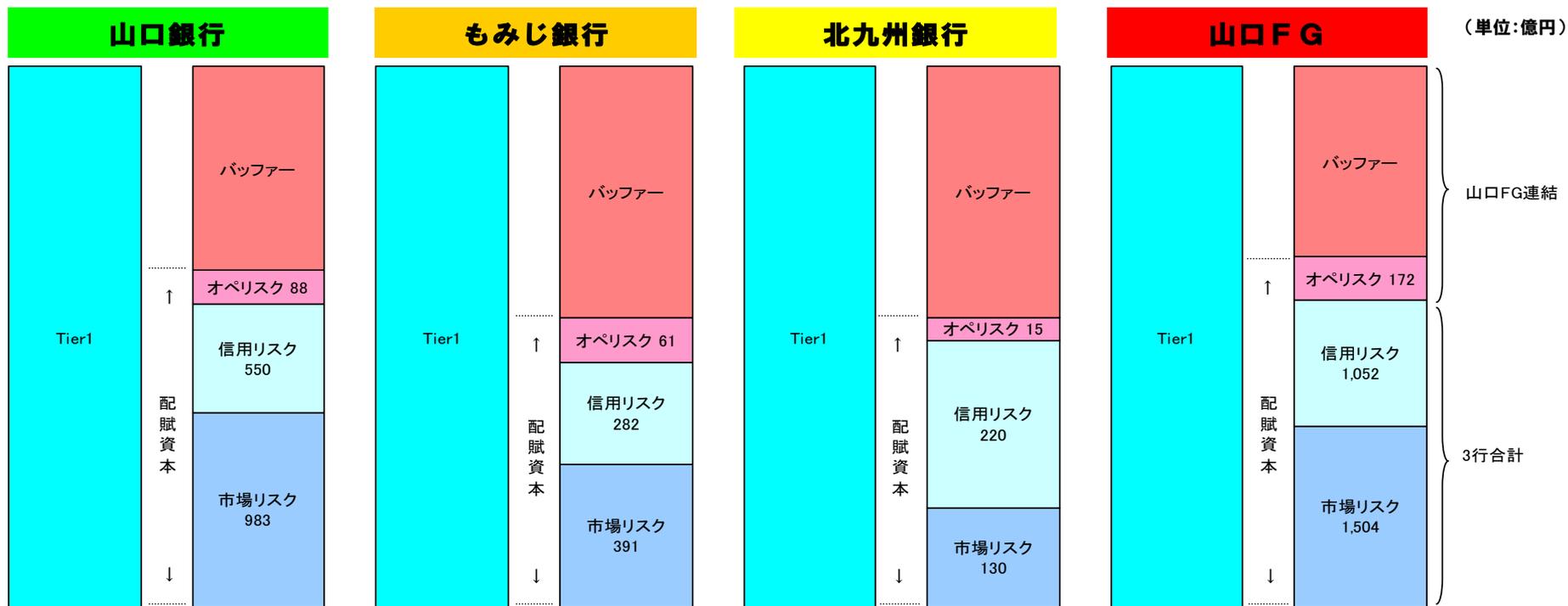
			25年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
24年9月末	正常先	4,493	3,657	671	1	0	0	-	163	
	要注意先	その他	2,205	148	1,877	22	36	0	5	114
		要管理先	112	-	94	8	-	1	-	7
	破綻懸念先	72	-	2	0	54	7	5	1	
	実質破綻先	31	-	-	-	0	29	1	0	
	破綻先	66	-	-	-	-	-	61	5	

ランクダウン753億円

ランクアップ245億円

(注)

- 対象債務者は個人消費者以外。
- 山口銀行、北九州銀行の前期末時点の債務者区分別与信額は、平成23年10月の会社分割を考慮し、取扱店舗で分割させたもの。
- 前期末時点の債務者区分別与信額を当期末時点の債務者区分別に分類し、期中の与信額の増減は考慮しない。
- 「その他」は、全額回収・売却等により当期末時点において、残高がゼロになった先の与信額。



		山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	3行合計
信用リスク	リスク量('13/9末)	418	234	161	813
	資本配賦額	550	282	220	1,052
	使用率	76.0%	83.0%	73.2%	
市場リスク	リスク量('13/9末)	755	241	129	1,125
	資本配賦額	983	391	130	1,504
	使用率	76.8%	61.6%	99.2%	

・Tier1 : 普通株式等Tier1+その他Tier1
(グループ全体を統一的に管理するために、山口FG、および各銀行とも国際統一基準に基づきTier1を算出)

・バッファー : 想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

※各銀行において、Tier1の範囲内でリスクを取得するとともに、山口FG連結においてもリスク量がTier1の範囲内となるよう運営。

参 考	山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	山口FG	注 釈
平成25年3月期Tier1	2,694	1,749	709	4,356	平成25年3月期から、山口FG及び山口銀行は国際統一基準(バーゼル3)により算出。もみじ銀行及び北九州銀行は国内基準(バーゼル2)により算出。
平成25年9月期Tier1	2,783	1,460	714	4,362	

◆景気は緩やかに回復している。

生産	電子部品・デバイス等の一部品目の生産が依然低迷している一方、自動車は新型車の生産が好調に推移し、化学・鉄鋼・石油製品等の生産も比較的堅調に推移するなど、総じて持ち直しに向けた動きとなっている。
設備投資	平成25年度の設備投資計画額は(山口経済研究所調べ)、大手化学メーカー等の一部企業が投資額を減額し、2年連続で前年度を下回った(前年度比▲8.1%)。
輸出	輸出額は、防府港の北米・欧州向けを中心とする自動車、徳山港のアジア向け化学製品等が増加し、全体でも昨年12月以降今年9月まで10ヶ月連続で前年を上回っている。
個人消費	大型小売店販売額が前年割れを続けているものの、百貨店の高額品販売に明るい動きがみられるほか、乗用車新車販売台数も新型車効果等から前年を上回る水準を回復。
公共工事	平成25年度累計(4~9月)の公共工事請負金額は、国、県、市町からの発注がいずれも大幅に前年を上回り、全体でも前年度を約5割上回っており、足元で大きく増加している。
住宅建築	新設住宅着工戸数は、消費税増税を見込んだ駆け込み需要や金利低下等を背景に、持家、貸家、分譲マンションの着工がいずれも増加傾向となっている。
雇用情勢	今年9月の有効求人倍率は0.97倍で5年ぶりの高水準となり、製造業の所定外労働時間も増加傾向となるなど、持ち直しに向けた動きがみられる。
企業倒産	今年1-3月期には倒産件数が若干増加し、大型倒産(負債額10億円以上)も3件発生したが、4-6月期以降は倒産件数、負債総額ともに低水準で推移している。

◆景気は緩やかに回復している。

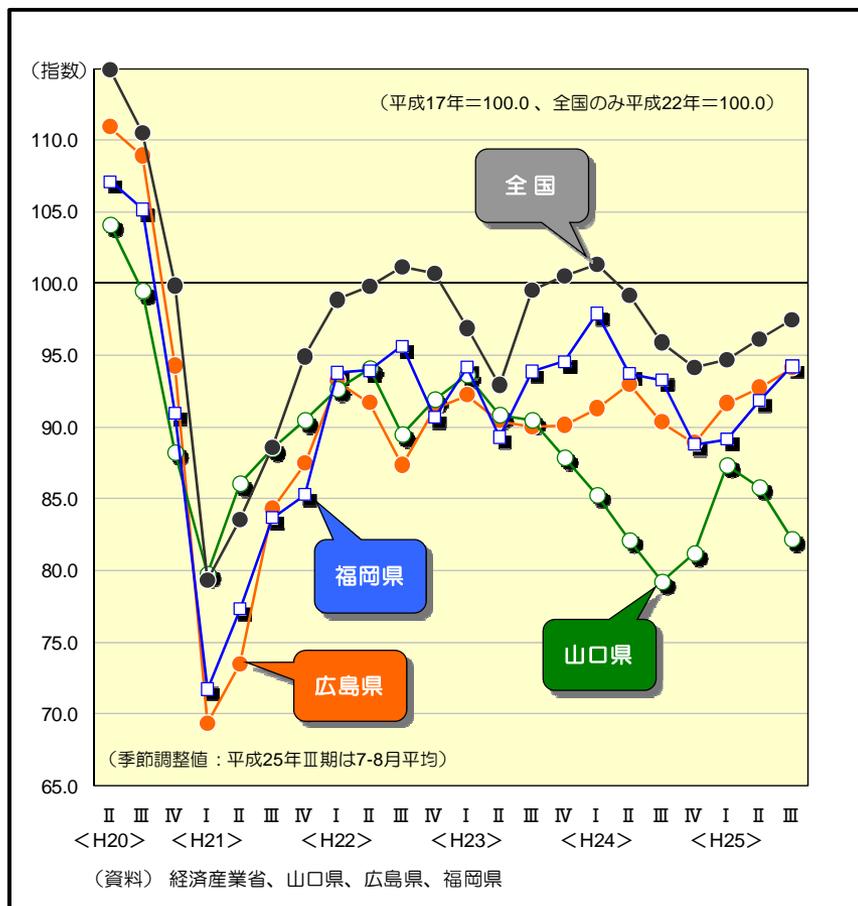
生産	新型車の増産によって自動車の操業度が高めで推移し、電気機械(スマートフォン向け部品)や鉄鋼が高操業を続けているほか、一般機械の生産も持ち直しつつある。
設備投資	平成25年度の設備投資計画額は(日銀広島支店調べ)、製造業(前年度比+8.7%)、非製造業(同+8.5%)がいずれも前年度を上回り、全体でも同8.6%増加と3年ぶりの前年比プラスとなっている。
輸出	新型車の受注が好調なことから、自動車の輸出が北米・欧州向けを中心に増加している。
個人消費	百貨店は高額品の好調さなどから持ち直しの動きが続き、乗用車新車販売台数も新型車の好調が続くなど、全体でも底堅く推移している。
公共工事	平成25年度累計(4~9月)の公共工事請負金額は、前年度比0.3%増加と前年を若干上回る水準となっている。
住宅建築	今年7-9月期の着工戸数は前年比37.3%増加と4期連続で前年を上回っており、消費税増税前の駆け込み需要もあって、持家、貸家、分譲がいずれも増加傾向にある。
雇用情勢	製造業、非製造業ともに求人が増加し、有効求人倍率が1倍を上回る水準で推移しているほか、雇用者所得も持ち直しに向けた動きがみられるなど、全体でも緩やかに改善している。
企業倒産	件数がやや増加傾向にあるほか、大型倒産の発生で負債総額も増加しているが、大型倒産以外の1件当たりの負債額は小口化しており、全体で見ると小康状態となっている。

◆北九州地区の経済は、緩やかに回復しつつある。

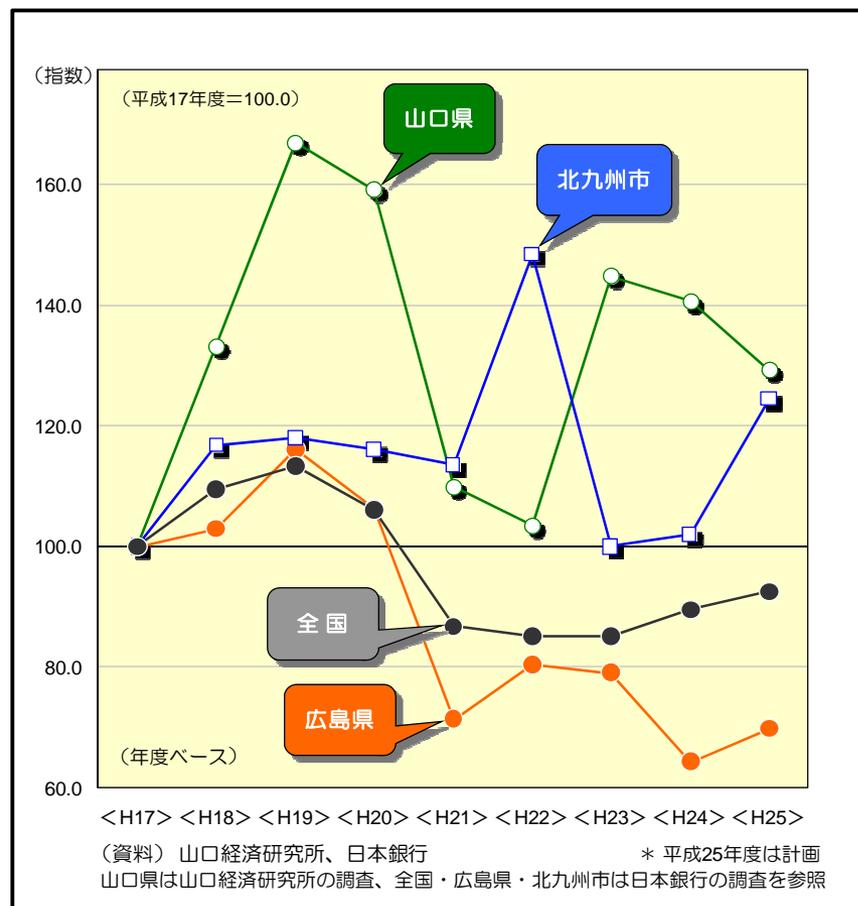
生産	国内需要が堅調な住設機器では高水準の生産が続いているほか、為替円安等を背景とした輸出の増加等を受けて幅広い業種で上向いており、全体として回復しつつある。
設備投資	収益や先行きの需要見通しに改善がみられる中、持ち直している。日本銀行北九州支店管内「短観」調査では、2013年度の設備投資額(計画)は、前年度に比べ製造業が37.6%増加、非製造業が1.0%増加し、全体では22.1%の増加となっている。
輸出	為替円安等を背景として増加している。
個人消費	全体として底堅く推移している。
公共工事	増加しており、2013年度上期の公共工事請負額は、前年度比で25.3%増加した。
住宅建築	増加しており、2013年度上期の新設住宅着工戸数は、前年度比で21.4%増加した。
雇用情勢	2013年9月の有効求人倍率は0.82倍と前年同月を0.02ポイント下回っているものの、6月以降上昇が続いている。
企業倒産	2013年度上期の企業倒産は、件数、負債総額ともに前年度を下回った。

- ◆ 鉱工業生産指数は輸出の増加等を背景に、全体の生産水準は底堅く推移。
- ◆ 設備投資計画額(平成25年度)は山口県(前年度比▲8.1%)が2年連続マイナス、広島県(同+8.6%)は3年ぶりプラス、北九州市(同+22.1%)は2年連続のプラスでの推移。

工工業生産指数の推移

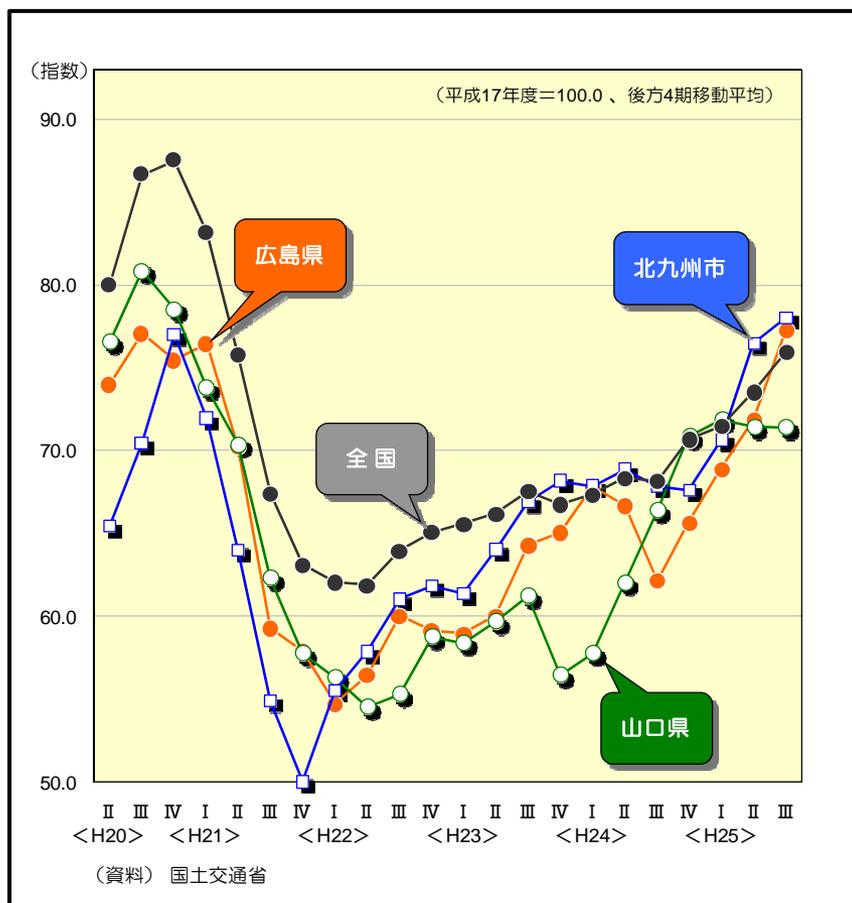


設備投資額の推移

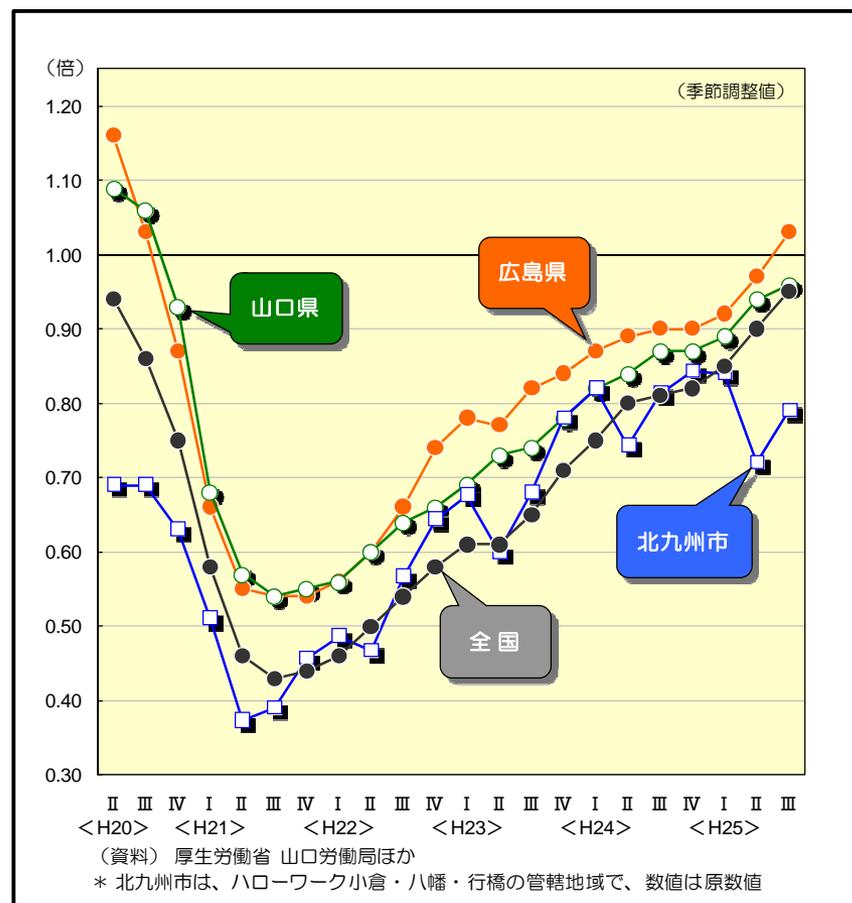


- ◆住宅着工戸数は消費税増税前の駆け込み需要により、増加傾向で推移。
- ◆雇用情勢は有効求人倍率が緩やかに上昇し、製造業の残業時間も増加するなど改善傾向。

新設住宅着工戸数の推移



有効求人倍率の推移



本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

【 本日の会社説明会に関するご照会先 】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

総合企画部 柳 田

カスタマーコミュニケーション部 山 西

TEL 083-223-7120

FAX 083-233-5850

<http://www.ymfg.co.jp/>